

平成 25 年度

静岡市ものづくり産業振興基本計画
に関する実施状況の報告について

経済局商工部 産業振興課

*** 目 次 ***

静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について	1
1 経緯	1
2 基本計画の概要	1
3 実施状況等	2
(1) 方針毎の実施状況	3
①方針1 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上	3
②方針2 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援	4
③方針3 連携を活かした新たな取組みの推進	5
④方針4 ものづくり産業を育てる環境整備	6
⑤方針5 ものづくり産業への理解促進と情報発信	7
(2) 実施状況の総括	8
5 各種事業の成果目標及び事業実績一覧表	12
6 各事業の進捗管理票	16

静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）の実施状況については、静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項により報告いたします。

1 経緯

基本計画については、平成23年3月、本市のものづくり産業の振興に向けた議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、同条第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会（以下「審議会」という。）及び関係機関との連携を図りながら、基本計画の策定に向けて取り組んできました。具体的には、平成23年9月に審議会へ基本計画策定案の検討を諮問し、その後、パブリックコメントなどを経て、平成24年7月に「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を計画目標とする基本計画を市長の定例記者会見において、公表・施行し、計画目標の達成に向けて取り組んでいるところであります。

2 基本計画の概要

基本計画については、条例に掲げる趣旨の具現化に向けたプロセスであることから、計画目標を支える5つの方針と11の施策に基づいて、全49事業を振り分けるとともに、計画期間における成果目標の設定を含めて体系化を図ったものであります。これは、製造業を中心とする本市ものづくり産業の振興を図るための基盤となるものであります。

根拠法令	静岡市ものづくり産業振興条例第8条第1項（基本計画の策定等）
計画期間	平成24～26年度（3か年度）
策定目的	本市ものづくり産業の総合的かつ計画的な振興を図るため
計画構成等	①計画目標 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡 ②方針 方針1 … 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 方針2 … 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 方針3 … 連携を活かした新たな取組みの推進 方針4 … ものづくり産業を育てる環境整備 方針5 … ものづくり産業への理解促進と情報発信 ③施策事業等 各事業の成果目標及び事業実績一覧表のとおり

基本計画の実施主体については、計画目標の達成に向けた事業を実施する担当課として、経済局商工部4課及び教育委員会事務局教育部1課の計5課が基本計画の推進に取り組んでいます。

事業担当課では、事業が振り分けられた方針や施策を踏まえるとともに、計画目標を達成するための成果目標のもとで、効率的かつ効果的な事業運営に努め、同時に進捗管理を図りながら事業を推進してきたところであります。

経済局商工部（4課）	地域産業課、産業政策課、商業労政課、観光・シティプロモーション課
教育委員会事務局教育部（1課）	学校教育課

3 実施状況等

基本計画については、前項のとおり、計画目標の達成に向けて、体系的が図られたものであるため、その実施状況にあたっては、一事業の進捗状況を注視するだけでなく、計画目標を実現させるために掲げた方針の進捗状況を主体的に捉えることで、計画全般を総合的に把握する必要があります。そのため、今回の報告では、図1のとおり、計画目標の大項目である5つの方針を基本的な枠組みと捉えるとともに、その中に位置付けられた施策毎の事業に関する進捗状況をもとに、方針毎の実施状況を把握しています。その後、それぞれの方針に関する進捗状況を総合的に判断した結果をもとに、基本計画の実施状況を包括的に評価しています。

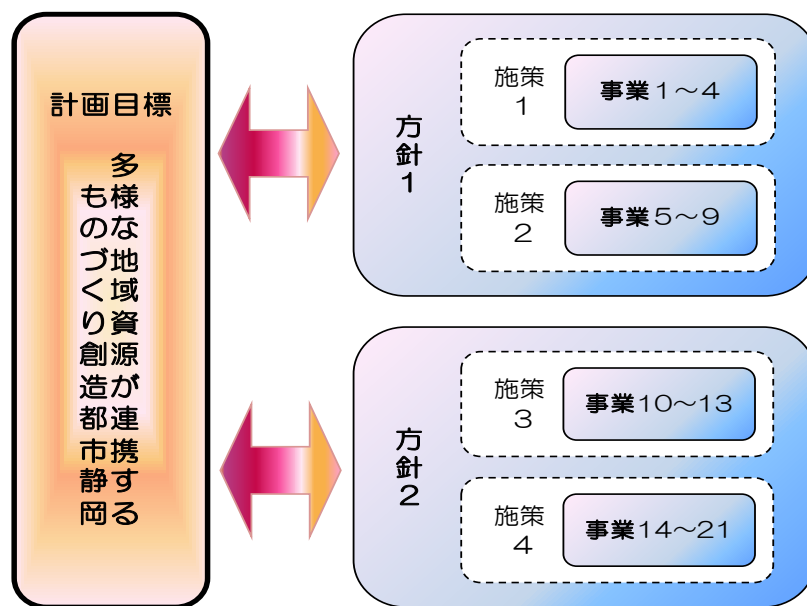


図1 基本計画の体系（方針1及び方針2の抜粋）

このようなことから、次項以下では、各方針の進捗状況を把握するために、表1のとおり、各種事業の実施結果について、AからCまでの3段階による区分に加え、数値目標を設けていない事業の4つに振り分けています。

なお、事業の成果目標に関しては、単年度毎のものと計画期間の3年をベースとするものとの2つに大別しています。そのため、今年度の報告に関する成果目標については、表1の留意事項に掲げる内容を参考にさせていただきたいと思います。

事業区分等	成果目標に対する事業の進捗状況等
A	成果目標を上回った事業
B	成果目標をほぼ達成した事業
C	成果目標を下回った事業
※	数値目標を設けていない事業
(留意事項)	1) 成果目標の年度毎の捉え方 計画期間の3年間を成果目標として設定している事業については、目標数値を3分の1として平準化を図り、それを今年度の成果目標として、上記のAからCの区分に適用させて実施状況を判断しています。 2) 施策の付記 参考まで当該方針を構成する施策を同表の冒頭に記載してあります。

表1 成果目標に対する各種事業の進捗状況等

(1) 方針毎の実施状況

①方針1 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上

方針1では、表2のとおり、成果目標を下回ったものが2事業あるものの、4事業において成果目標以上の進捗状況にあります。また、事業8についても、概ね成果目標どおりの進捗状況にあることから、方針の進捗状況に関しては、比較的順調な事業展開のもとで推移しているものと捉えられます。

その他、事業4の理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討事業については、地元の中小企業への支援策を進展させるため、昨年度から協議を継続している静岡理工科大学との連携強化に向け、相互に検討を進めました。今後は、静岡理工科大学との連携を推進するとともに、地元中小企業のニーズを捉えることなどを含め、静岡商工会議所の製造業部会なども連携を図り、大学誘致等の共通認識を持ちながら、事業進展を進めていきたいと考えています。また、事業9の技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討事業では、静岡県職業能力開発協会・静岡商工会議所に支援状況についてのヒアリングを実施するとともに、そのヒアリング結果と前年度に実施した他政令市への実態調査の結果をもとに、支援の条件・申請方法・交付先等の支援事業に関して、具体的な検討を行うことができました。

特に、事業2の(仮)経営者と大学生との縁結び事業では、3年間の参加者数を360人と見込む中、平成24、25年度だけで294人の参加者を数え、進捗率81.7%を達成していることから、今後の事業展開によっては、成果目標を超える実績に期待が持てます。また、事業6の若手後継者の技術習得支援事業においては、平成25年度に37人の受講希望者を受け入れることができたため、前年度同様に想定を超える123.3%の進捗率を達成しています。

さらに、事業7の伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進・PR活動の促進事業では、平成25年度に対象者不足等の理由によって、新たな伝統工芸技術秀士指定の指定を見送ることになりましたが、展示会等については、3年間の成果目標15回に対し、平成24、25年度の2年間で、14回開催することができたため、達成率93.3%という高い進捗率を達成しています。

構成施策	施策1 地域における人材確保への支援 施策2 技術者、経営者等の能力向上への支援
A	事業2 (仮)経営者と大学生の縁結び事業 事業5 人材育成に係る各種講座・セミナー等の開催 事業6 若手後継者の技術習得支援(伝統工芸技術保存講習会) 事業7 伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進及びPR活動の促進
B	事業8 クラフトマンサポート事業の拡充
C	事業1 企業と大学等との就職に関する情報交換の促進 (未達成理由) 一般企業及び県が類似事業を実施したため (改善方法) PR及び対象企業の拡大 事業3 定年延長を見越した中高年技術研修の検討 (未達成理由) 関係団体へのヒアリング及び前年度実施の他都市への実態調査結果から支援実施に向けた検討に終始することとなったため (改善方法) 関係団体との連携強化に向けた情報共有、協議を進めていく。
※	事業4 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討 事業9 技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討

表2 事業実績に基づく方針1の進捗状況区分

②方針2 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援

方針2については、表3のとおり、成果目標を下回ったものが2事業ある一方で、それ以外の事業では、成果目標以上の進捗状況にあることから、方針の進捗状況に関して、比較的順調な事業展開のもとで推移しているものと捉えられます。

その中でも、事業10の若手グループの商品開発支援事業では、年1回の開催を予定していたところ、技術講習会として4回を開催することができました。また、他の講習会等については、5回の開催目標から21回に増やして取り組んだことで、大幅に成果目標を上回ることができました。さらに、事業15の専門家による窓口相談においては、3年間で900件の相談目標件数に対して、2年間で1,001件の相談対応実績を上げることができたため、111.2%の進捗率に達成しています。事業12の全国規模等の見本市への出展助成強化については、信用金庫を中心に制度の周知活動に努めたこともあり、3年間で140件の助成件数という目標に対して、平成24～25年の2年間で102件の実績を上げることができました。進捗状況は、平成25年度末時点で72.9%に達しているため、平成26年度末には成果目標を達成できるものと推測しています。加えて、事業19の創業者等の営業機会拡大等のための各種事業の実施については、3年間で1,200件の成果目標を想定したところ、平成24、25年度で2,533件の実績を上げることができたため、事業展開が好調に推

移しているものと考えています。

一方、成果目標を下回った事業16のコンサルティングの実施事業については、事業内容が事業者に行き届いていない状況が確認されたため、次年度以降の事業展開にあたっては、支援機関との連携強化や支援活用方法の検討を行い、前年度に引き続き、利用事業者を増加させていく具体的な手立てを検討していく必要があります。

このような進捗状況にある方針2については、一部に改善を要する事業が見られるものの、多くの事業において、成果目標以上の順調な進捗が確認されることから、事業者のニーズへの支援に関する方針のもとで、事業の進捗が図られている状況にあるものと考えています。

構成施策	施策3 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援 施策4 経営資源確保のための環境整備
A	事業10 若手グループの商品開発支援 事業11 地場産品及び伝統工芸品等の販路開拓推進 事業12 全国規模等の見本市への出展助成強化 事業13 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援 事業14 マーケティング支援講座の実施 事業15 専門家による窓口相談 事業19 創業者等の営業機会拡大等のための各種事業の実施
B	事業17 専門家の指導による商品企画・開発支援 事業18 起業に向けたビジネスプランの策定等の支援 事業20 専門家の指導等による商品企画・開発等支援の拡充（新商品・特許） 事業21 大学等研究機関への相談機会の拡充
C	事業16 コンサルティングの実施 (未達成理由) 事業内容の周知が行き届いていない (改善方法) 支援機関との連携強化、支援活用方法の改善

表3 事業実績に基づく方針2の進捗状況区分

③方針3 連携を活かした新たな取組みの推進

方針3については、表4のとおり、他の方針と比較して、数値目標が設けられていない事業が多く登載されています。また、他の事業においては、成果目標以上の実績を有する事業が多くある一方で、成果目標を下回った事業が確認されない状況にあります。

まず、成果目標以上の実績を達成したもののうち、特に顕著な進捗が見られる事業としては、事業24と事業28が挙げられます。事業24のメーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援事業については、3年間で3件の新商品開発数とする目標に対して、平成25年度だけで5件の実績を上げた結果、2年で11件を数えることとなったため、進捗率は366.7%に達しています。また、事業28の駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進事業では、事業化件数を3年間で3件とした目標に対して、平成24年度に2件、平成25年度に1件の事業化が図られているため、2年で成果目標を達成しています。そのことから、新事業の創出に向けた支援事業が順調に展開されているものと考えています。

事業29のアーティストとのコラボレーション支援推進事業については、2か年度の事業として取り組みを進めていました。平成25年度については、開発数20点（平成24～25年度）の成果目標に対して、目標を大幅に上回る60点を開発しました。さらに、首都圏における見本市へ2回出展、地元百貨店に1回出展することで、販路開拓を継続的に実施しました。

一方、数値目標が設けられていない事業に関しては、事業の成果創出に向けて、異業種企業交流会や技術相談会のほか、セミナー等を開催するなど、関係機関等との調整を図りながら進捗が図られています。

これらの進捗状況を受けた方針3の進捗状況については、今後、更なる進展が望まれる事業が多く見受けられるものの、多くの事業において、成果目標以上の進捗が確認されることから、連携を活かした新たな取組みを推進させる方針のもとで、事業の進捗が図られている状況にあります。

構成施策	施策5 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援 施策6 研究開発や事業化等に関する支援
A	事業24 メーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援 事業28 駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進 事業29 アーティストとのコラボレーション支援推進 事業31 地域課題に係る産学共同研究への支援
B	事業22 産学官交流事業の推進 事業35 ものづくり先進都市等に関する調査研究
C	—
※	事業23 異業種交流事業の推進 事業25 農商工連携の推進 事業26 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進 事業27 地域結集型研究開発プロジェクトの推進 事業30 新産業開発振興機構の活用に関する検討 事業32 大学等研究成果の技術移転の推進 事業33 産業構造の将来予測等に関する調査研究の検討 事業34 地域間競争に臨む戦略的方策等の検討

表4 事業実績に基づく方針3の進捗状況区分

④方針4 ものづくり産業を育てる環境整備

方針4に掲げる事業については、表5のとおり、事業数そのものが少ない中、数値目標が設けられているものが1事業、その他2事業に数値目標が設定されていない状況にあります。

成果目標掲げる事業36の企業立地の推進に関しては、新規企業立地の年間目標件数14件に対して、積極的な企業訪問に取り組むとともに、各種情報や助成制度の情報提供を実施したことから、17件の立地に成功し、進捗率121.4%を達成しています。

その他2事業の内、事業37の国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援事業については、市産学交流センター及び清水産業・情報プラザのホームページ等を活用して情報提供を実施

する以外にも、月2回のメルマガ配信やFacebook ページ等による情報発信を行いました。また、事業38の中小企業の事業継続計画策定に関する支援事業については、BCPに関する専門家の派遣を3件実施しました。その内、清水産業・情報プラザの製造現場改善支援事業において、BCP策定の支援コースを追加したものの、1件の実績に留まったため、今後は、今回の事業メニューの追加等について周知を図っていきたいと考えています。

このようなことから、方針4の進捗状況については、成果目標以上の事業が確認されたことに加え、情報提供や普及啓発にも取り組めたため、ものづくり産業の環境整備に関する方針のもとで、事業の進捗が図られている状況にあります。

構成施策	施策7 企業の誘致及び市内留置の促進 施策8 情報の窓口の一元化に向けた事業者支援体制の整備 施策9 災害発生後における事業の継続等に向けた支援
A	事業36 企業立地の推進
B	—
C	—
※	事業37 国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援 事業38 中小企業の事業継続計画策定に関する支援

表5 事業実績に基づく方針4の進捗状況区分

⑤方針5 ものづくり産業への理解促進と情報発信

方針5では、表6のとおり、成果目標を下回ったものが1事業ある一方で、それ以外の事業では、順調に事業展開が図られ、成果目標を達成した状況にあります。

その中でも、事業41 高校生のインターンシップ事業については、インターンシップの学生と受け入れ企業の双方に対するアンケートの実施や、ジュニアインターンシップ説明会の実施等を通じて、積極的な利用促進を図ることができました。これにより、3年で90人参加の成果目標に対して、平成25年度だけで98人の参加実績を上げることができたため、24～25年度において対成果目標204.4%を達成しています。

また、事業39における①スペシャリスト派遣事業については、平成24年度をもって事業を終了したとともに、その他の②民間講師の活用、③職場体験学習の全校実施、④職場体験学習受入事業所掲載事業数150事業所に関する事業については、成果目標を達成しております。さらに、事業46の首都圏におけるプロモーションの強化(ホビーのまち)事業については、当初予定していた新宿駅西口におけるプラモデル展について、展示スペースの広さや物販に関する規定等により、開催を見送っています。その代わりとしては、同所において、12月開催のクリスマスフェスタや静岡ホビースクエアに関するチラシ・パンフレットを配布することで、首都圏におけるイベント周知のPR活動を実施しました。

構成施策	施策 10 ものづくり産業と教育機関の連携強化 施策 11 ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進
A	事業 39 次世代育成プロジェクト事業 事業 41 高校生のインターンシップ事業 事業 44 経済セミナー等の開催 事業 47 静岡市ブランド認証制度の拡充 事業 48 市民向けものづくり体験・学習イベントの開催
B	事業 45 首都圏におけるプロモーションの強化（特産品東京展示会） 事業 46 首都圏におけるプロモーションの強化（ホビーのまち）
C	事業 49 ものづくり現場企業見学会の開催 （未達成理由）見学を希望する企業との協議の中で、見学者の受け入れ人数や時間等の調整が難しく、見学会の開催が1件に止まってしまった （改善方法等）静岡商工会議所製造業部会と連携を図り、受入企業の選定について協議を重ねていく
※	事業 40 こどもクリエイティブタウンの整備（平成25年1月開館） 事業 42 体験型観光プログラムの開発と誘客の推進 事業 43 産業観光等のニューツーリズムの推進

表6 事業実績に基づく方針5の進捗状況区分

さらに、数値目標を設けていない事業の内、事業43の産業観光等のニューツーリズムの推進事業では、県中部地区観光協議会において、産業観光をはじめ、グルメやお茶、スポーツやサイクリング等、様々なテーマ別観光メニューの開発を検討しました。

一方、成果目標を下回った事業49のものづくり現場企業見学会の開催においては、事業の実施に向けた企業や関係団体等との調整が困難であったことが原因として挙げられます。今後は、静岡商工会議所製造業部会と連携を図り、事業を進めていきたいと考えています。

これらのことに基づく方針5の進捗状況については、成果目標を下回った事業が見られるものの、成果目標以上の実績を有する事業が多く確認されるため、ものづくり産業への理解促進などの方針のもとで、事業の進捗が図られている状況にあると考えています。

(2) 実施状況の総括

基本計画の実施状況に関しては、計画目標を支える重要な方針レベルにおいて、表7のとおり、5つの方針で概ね進捗が図られているとともに、事業レベルの進捗状況からも、成果目標以上の達成を示すA（21事業）及びB（9事業）に該当するものが、全49事業の61.3%を占める結果となっています。また、A評価の事業が、前年の19事業から2事業増加となる一方で、未達成であるC評価の事業が1事業減少しているため、事業が順調に展開することができただけでなく、C評価の事業についても、列記された課題への改善に進んでいるものと捉えています。

さらに、全49事業の内、成果目標を掲げている34事業に対するA及びBの合計割合（30事業）は、88.2%になるとともに、成果目標を設けていない事業においても、各種セミナーの開催などを通じて、中小事業者等に対する情報提供などの支援展開が進められています。

該当事業数 〇 内は平成24年度

方針区分	事業区分等	該当事業数	方針別 (%)	4区分 (注1)	方針別進捗評価	事業区分別	該当事業数	事業別 (%)	3区分 (注2)
方針1	A	4 (4)	44.4	55.5	○	A	21	42.9	61.3
	B	1 (1)	11.1						
	C	2 (2)	22.2	22.2					
	※	2 (2)	22.2	22.2					
	小計	(9)							
方針2	A	7 (7)	58.3	91.6	○	B	9	18.4	
	B	4 (3)	33.3						
	C	1 (2)	8.3	8.3					
	小計	(12)							
方針3	A	4 (2)	28.6	42.9	○	C	4	8.2	8.2
	B	2 (4)	14.3						
	※	8 (8)	57.1	57.1					
	小計	(14)							
方針4	A	1 (1)	33.3	33.3	○				
	※	2 (2)	66.6	66.6					
	小計	(3)							
方針5	A	5 (5)	45.5	63.7	○	※	15	30.6	30.6
	B	2 (3)	18.2						
	C	1 (1)	9.1	9.1					
	※	3 (2)	27.3	27.3					
	小計	(11)							
事業数計		49	—		—	—	49	—	—
各方針の進捗状況に対する総合的な評価		◎ : 十分に進捗が図られている ○ : 概ね進捗が図られている △ : 進捗が図られていない × : 全く進捗が図られていない							

注1) 各方針の事業に関して、成果目標以上とその他により事業を区分しています。
 注2) 3区分による表記は、全49事業を成果目標以上とその他によりを区分しています。
 注3) 方針別の割合について、必ずしも100%にならない項目もあります。

表7 方針別の進捗評価及び事業区分別の進捗状況

これらのことから、基本計画全般にあつては、図2のとおり、計画目標の「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」に向けて、各種の事業成果を創出しながら、順調かつ着実に実施されている状況にあります。

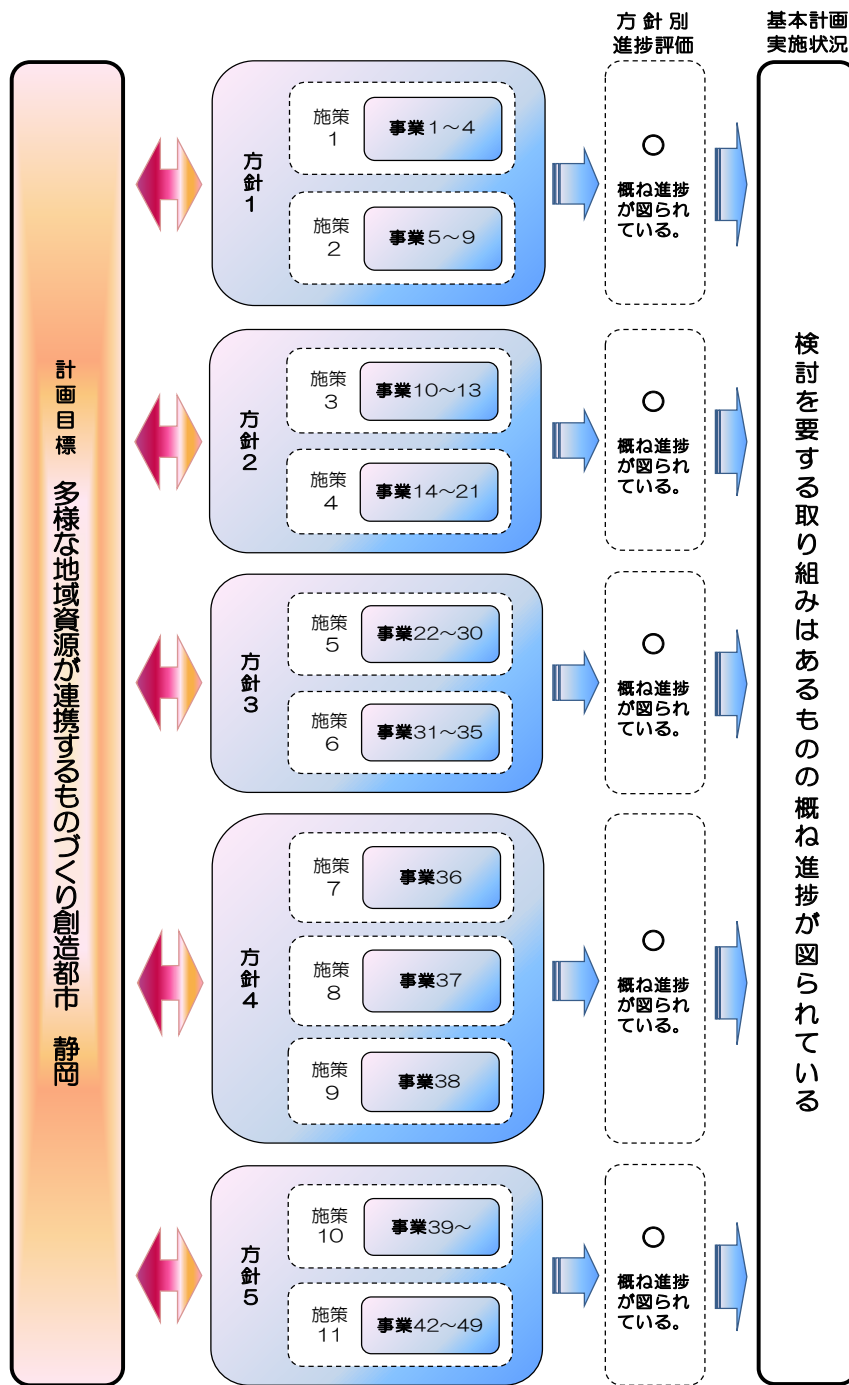


図2 基本計画の方針別進捗評価に基づく実施状況

(報告書添付資料)

■各事業の成果目標及び

事業実績一覧表 (P11~14)

■各事業進捗管理票 (P15~63)

各事業の成果目標及び事業実績一覧表

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成25年度進捗状況 (H24～25累計、0内はH24年度実績)	事業区分
(計画目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上			
(施策1) 地域における人材確保への支援			
(事業1) 企業と大学等との就職に関する情報交換の促進	参加者 大学等 180校/3年 企業等 240社/3年	参加者 大学等 102校(42)/3年 56.7% 企業等 109社(53)/3年 45.4%	C
(事業2) (仮) 経営者と大学生との縁結び事業の推進	参加者 360人/3年	参加者 294人(140)/3年 81.7%	A
(事業3) ◆ 定年延長を見越した中高年技術研修の検討	参加者 30人/3年	参加者 0人(0)/3年 ※市内各関連団体と連携し、効果的な支援の検討を行った。	C
(事業4) ◆ 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討	3年間検討し、関係機関等との協議を含めた報告書を作成	地元の中小企業への支援策を進展させるため、昨年度から協議を継続している静岡理工科大学との連携強化に向け、相互に検討を進めることとした。	※
(施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援			
(事業5) 人材育成に係る各種講座・セミナー等の開催	開催回数 60回/3年 受講者数 4,500人/3年	開催回数 70回(37)/3年 116.7% 受講者数 2,990(1,658)人/3年 66.5%	A
(事業6) 若手後継者の技術習得支援 (伝統工芸技術保存講習会の開催)	受講生30人以上/年 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)	受講者数 37人(40)/年 123.3%	A
(事業7) ◆ 伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進・PR活動の促進	平成26年度までに2名指定 (現在48人) 展示会等 15回/3年	顕彰者数 1人(1)/3年 50.0% 展示会等 14回(7)/3年 93.3%	A
(事業8) ◆ クラフトマンサポート事業の拡充	短期支援6人/3年、長期支援9人/3年、独立支援3人/3年(各人数は延べ) ※長期支援は期間拡充	短期支援 4人(3)/3年 66.7% 長期支援 5人(2)/3年 55.6% 独立支援 2人(1)/3年 66.7%	B
(事業9) ◆ 技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討	補助金等交付要綱などの支援制度の整備	市内関係団体の支援状況について、ヒアリングを実施した	※
(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援			
(施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援			
(事業10) 若手グループの商品開発支援 (ものづくり相談・支援)	技術講習会1回/年 講演会等5回/年 (新商品開発事業の推進等)	技術講習会 4回(2)/年 400.0% 講習会等 21回(9)/年 420.0%	A
(事業11) 地場産品及び伝統工芸品等の販路開拓推進	各種展示販売イベント 50回/年(駿府楽市や駿府匠宿のギャラリー等)	開催回数 51回(50)/年 102.0%	B
(事業12) ◆ 全国規模等の見本市への出展助成強化	助成件数140件/3年 (1社当たり、国内外各1回の計2回/年に強化)	助成件数 102件(52)/3年 72.9%	A
(事業13) ◆ 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援(情報発信・ビジネスマッチングの機会提供)	支援事業への参加企業数 30社 新規顧客開拓件数 6件 新分野進出・業務転換企業数 3社	参加企業数 72社(19)/3年 240.0% 開拓件数 5社(3)/3年 83.3% 新分野進出・業務転換企業数 12社(6)/3年 400.0%	A

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに取り組む事業を示しています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成25年度進捗状況 (H24～25累計、0内はH24年度実績)	事業 区分
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援			
(施策4) 経営資源確保のための環境整備			
(事業14) マーケティング支援講座の実施	開催回数 36回/3年 受講者数 2,100人/3年 (再掲 事業5内数)	開催回数 25回(12)/3年 69.4% 受講者数 1,795人(877)/3年 85.5%	A
(事業15) 専門家による窓口相談	相談件数 900件/3年	相談件数 1,001件(475)/3年 111.2%	A
(事業16) コンサルティングの実施	派遣回数 660件/3年	派遣回数 232件(112)/3年 35.2%	C
(事業17) 専門家の指導による商品企画・開発 支援	支援プロジェクト数 3件/3年	支援プロジェクト数 2件(1)/3年 66.7%	B
(事業18) 起業に向けたビジネスプラン策定等の 支援	応募件数 80件/年	応募件数 71件(112)/年 88.8%	B
(事業19) 創業者等の営業機会拡大等のための 各種事業の実施	相談件数 1,200件/3年	相談件数 2,533件(1,602)/3年 211.1%	A
◆(事業20) 専門家の指導等による商品企画・開発 支援拡充(新商品・特許)	新商品助成 12件/3年 産業財産権 66件/3年 (対象範囲を拡充)	新商品助成 7件(3)/3年 58.3% 産業財産権 53件(20)/3年 84.1%	B
◆(事業21) 大学等研究機関への相談機会の拡充	相談機会 6回/3年	相談機会 3回(2)/3年 50.0%	B
(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進			
(施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援			
(事業22) 産学官交流事業の推進	交流会開催数 21回/3年 交流・連携に関する情報提供の 実施	交流会開催数 15回(7)/3年 71.4%	B
(事業23) 異業種交流事業の推進	異業種交流を推進する団体への 助成	※講演会等の開催 開催数 20回(9) 参加者数 650人(307)	※
(事業24) メーカーとクリエイターのマッチン グ・ブランド化の支援	マッチングによる新商品 開発権数 3件/3年	新商品開発件数 11件(6)/3年 366.7%	A
(事業25) 農商工連携の推進	農商工連携による商品開発 への支援	※国の事業認定につながる事業体 の掘り起こし 12者(7)	※
(事業26) フーズ・サイエンスヒルズプロジェ クトの推進	プロジェクトの推進	※セミナー実施 6回(3) 技術相談会及び マーケティング相談会 6回(3)	※

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに取組む事業を示しています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成25年度進捗状況 (H24～25累計、0内はH24年度実績)	事業区分
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進			
(施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援			
(事業27) 地域結集型研究開発プログラムの推進	プログラムの推進	※研修開発プログラム終了 (平成25年12月まで)	※
(事業28) 駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進	事業化件数 3件/3年	事業化件数 3件(2)/3年 100.0%	A
(事業29) アーティストとのコラボレーション支援推進(ニューウェーブしずおか創造事業)	開発点数 平成24～25年度 20点 (平成26～27年度 20点)	開発件数 平成24年度～25年度 60点 300%	A
◆(事業30) 新産業開発振興機構の活用に関する検討	新産業開発振興機構の活用 の推進	地場産業と新産業開発振興機構との連携について、関係機関と協議を行ったほか、研究会・交流会等、新事業創出のきっかけを提供する事業を実施	※
(施策6) 研究開発や事業化等に関する支援			
(事業31) 地域課題に係る産学共同研究への支援	産学共同研究数 15件/3年	産学共同研究数 11件(5)/3年 73.3%	A
(事業32) 大学等研究成果の技術移転の推進	技術移転機関への助成	※展示会出展 14回(5) マッチング会 10回(5) 技術移転 5件(3) 技術相談・仲介対応 31件(12)	※
◆(事業33) 産業構造の将来予測等に関する調査研究の検討	3年間検討し、調査研究結果を報告書として作成	ものづくり産業の将来予測等に関する基礎資料を整えるため、県内の経済及び経営に関する大学の教員に協力を依頼して、予測モデル等の検討を進めた。	※
◆(事業34) 地域間競争に臨む戦略的方策等の検討	3年間検討し、調査研究結果を報告書として作成	関連事業の進捗状況について把握し、事業の結果について取りまとめ方法を検討中。	※
◆(事業35) ものづくり先進都市等に関する調査研究	3都市/3年 (調査研究報告書の作成)	調査都市数 2都市(1)/3年 66.7% (H25 福井県鯖江市調査)	B
(方針4) ものづくり産業を育てる環境整備			
(施策7) 企業の誘致及び市内留置の促進			
(事業36) 企業立地の推進	新規企業立地件数 14件/年 (企業立地戦略指針) 平成20～24年度 70件/5年	新規企業立地件数 17件(19)/年 121.4%	A
(施策8) 情報と窓口の一元化に向けた事業者支援体制の整備			
(事業37) 国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援	市産業支援施設ホームページ等における情報提供の推進	産学交流センター及び清水産業・情報プラザのホームページ等の活用を図り、情報提供を実施。	※
(施策9) 災害発生後における事業の継続等に向けた支援			
◆(事業38) 中小企業の事業継続計画策定に関する支援	情報提供、講座等の実施	※BCPに関する専門家派遣 3件実施 BCP研究会定例会やセミナーに出席した 計5回	※

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに取り組む事業を示しています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成25年度進捗状況 (H24～25累計、()内はH24年度実績)	事業 区分
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針5) ものづくり産業への理解促進と情報発信			
(施策10) ものづくり産業と教育機関の連携強化			
(事業39) 次世代育成プロジェクト事業	①スペシャリスト派遣事業60件以上 (平成24年度をもって事業終了) ②民間講師活用400人以上 (2,100人以上) ③連続3日間以上の職場体験学習の 全校実施 ④職場体験学習受入事業所リスト 掲載事業所数150事業所(新規登 録3事業所以上)	② 445件(484)/年 111.3% ③ 43校(43)/年 100.0% ④ 199事業所(144)/年 132.7% (新規登録55事業所(12))	A
(事業40) こどもクリエイティブタウンの整備	平成25年1月開館 (指定管理者による運営)	—	※
(事業41) 高校生のインターンシップ事業	参加者 90人/3年	参加者数 184人(86)/3年 204.4%	A
(施策11) ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進			
(事業42) 体験型観光プログラムの開発と 誘客の推進	首都圏や海外からの教育旅行 の誘致推進	※訪日教育旅行誘致件数 4件(7) 体験プログラム実施数 3,615件 (H22～25)	※
(事業43) 産業観光等のニューツーリズム の推進	関係団体等との連携強化による 体験プログラムの開発及び充実	※静岡県中部地区観光協議会におい て様々なテーマ別観光メニューの開 発を検討した。	※
(事業44) 経済セミナー等の開催	セミナー等開催数 9回/3年	セミナー等開催数 9回(5)/3年 100.0%	A
◆ (事業45) 首都圏におけるプロモーション の強化(地場産品東京展示会)	6回/3年 地場産品のPR及び静岡市ブラ ンドの創出・認知度の強化	3回(2)/3年(50.0%)	C
◆ (事業46) 首都圏におけるプロモーション の強化(ホビーのまち)	PR事業の強化 3回/3年	PR事業 2回(1)/3年 66.7%	B
◆ (事業47) 静岡市ブランド認証制度の拡充	平成24～25年度 20品認証 展示即売会 15回/3年に拡充	認証品数 24品(10)/2年 120.0% 展示即売会数 11回(5)/3年 73.3%	A
◆ (事業48) 市民向けものづくり体験・学習 イベントの開催	参加者300人/3年	参加者数 574人(枝)(83)/3年 191.3%	A
◆ (事業49) ものづくり現場企業見学会の開催	参加者300人/3年	参加者数 42人(0)/3年 14.2%	C

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに取り組む事業を示しています。

事業 1	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成25年度			
	事業名	企業と大学等との就職に関する情報 交換の促進		予算額	218千円		
				決算額	136千円		
	事業概要	県内外の大学等(短大・専門学校 を含む)と市内の事業所が、採用情 報等について情報交換を行う場を設 け地域の産業の人材確保に向けた支 援を促進します。		取 組 状 況 H25.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■日程 平成26年1月28日(火) ■会場 グランシップ ■対象 企業の人事担当者と県内外の大学・短大・専門学校の就 職指導者 ■その他の予定 <ul style="list-style-type: none"> 10月 公共職業安定所(静岡・清水)と商工会議所の担当者打 合せ 11月 企業、大学へ交流会参加依頼の通知(予定1,000件) 12月 参加企業、大学の確定、プロフィール作成依頼 1月 参加企業、大学へ資料送付 (予定企業数80社、大学数70校) 1月 交流会実施 2月 アンケート実施及び来年度に向けた検討 ■予算額 <ul style="list-style-type: none"> 講師謝金60,000円、茶菓代40,000円、 看板代・会場設営・撤去費62,000円、 会場借上料等56,000円 		
		補 足 事 項	大学3年生の就職活動のスタ ートが12月となったことによ り、静岡県では11月、本市で は1月に本交流会を開催する。 就職活動開始前後に開催するこ とで、ニーズの異なる企業、大 学等の参加が見込まれる。		進 捗 率 H25.9.1 現在		
				H26.3.31 現在	(参加大学等) H24 / 42校 H25 / 60校 計 / 102校 (参加企業等) H24 / 53校 H25 / 56社 計 / 109校	(参加大学等) 56.7 (%) (参加企業等) 45.4	
	成果目標	参加者 大学等 180校/3年 企業等 240社/3年		事 業 評 価 事業結果 <ul style="list-style-type: none"> ■目 的 学生と企業の「就職・雇用のミスマッチ」を解消するため大学 等の就職指導者と企業の人事担当者との情報交換・意見交換を 実施することにより、平成27年3月卒業の学生の就職促進を図る。 ■日 時 平成26年1月28日(火)午後2時から午後4時半まで ■会 場 グランシップ ■参加者 ①県内外の大学・短大・専門学校の就職指導者 60校78人 ②静岡市内に所在する企業の人事担当者 56社80人 ■内 容 大学等の就職指導者と企業の人事担当者のそれぞれのブースを 設け、互いに訪問することによる情報交換と意見交換を実施した。 			
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政 策 方 針	5 すぐれた能力と意欲ある人材 の育成・支援				
		大 施 策	(2) 意欲ある人材の地域における 就業支援				
		中 施 策	①企業と人材のマッチング				
産業振興 プランの 位置付け	基 本 方 向	4 チャレンジ精神に富む人材・ 企業の輩出、育成					
	基 本 方 針	(4) 次代を担う人づくり					
	基 本 施 策	②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策担当		そ の 他 (特記事項)	公共職業安定所(ハローワーク静岡・清水)及び静岡商工会議 所と共催する事業である。			
		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等		今年度は、学校への参加通知件数を前年の1.5倍(約250 校)にしたことで、大学等の参加が前年比1.4倍となった。 また、前年度アンケートの意見から時間配分を再検討し、30 分時間を延ばし、実施した。 当日欠席等もあり、目標を達成できなかったが、今後はアンケ ート結果を反映し、学校への参加通知件数の増加や、市内企業へ の周知範囲を拡大し、目標達成を図る。			

事業	方針等区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成25年度			
	事業名	(仮) 経営者と大学生の縁結び事業の推進		予算額	1,200千円		
				決算額	735千円		
	事業概要	優秀な人材を確保するために、経営者等が大学3年生等に直接、地域の産業の魅力を伝える就職支援策を推進します。		取組状況 H25.9.1 現在	1 対象 ①静岡市内の特色ある産業・業界の中小企業経営者等 ②地元企業への就職に興味のある大学生及びその親等 2 内容 地元企業の経営者等と就職活動を控えた大学生との意見交換を通じて、業界の理解と地域企業の人材確保を図る。 3 実施期間 7月～12月 4 予算額 委託料735,000円 5 取組状況 ・夏休み期間に3回実施。 ■企業と学生の縁結び事業 □第1回(7月27日) テーマ:豊かな自然を活かした多様で多彩な”食”産業 参加者:企業5社、学生33人 □第2回(8月10日) テーマ:キラリと光る”ものづくり”企業① 参加者:企業5社、学生29人 □第3回(8月31日) テーマ:キラリと光る”ものづくり”企業② 参加者:企業5社、学生27人		
		補足事項	市内の中小企業経営者や人事担当者と大学生等が情報交換するセミナーを年3回開催する。 ・参加企業 3社×3 ・参加学生(定員)40人×3		進捗率 H25.9.1 現在	(参加者数) H25 / 89人	(参加者数) 63.6 (%)
			H26.3.31 現在	(参加者数) H24 / 140人 H25 / 154人 計 / 294人	(参加者数) 81.7 (%)		
	成果目標	参加者 360人/3年		事業結果	■企業と学生の縁結び事業 □第1回(7月27日) テーマ:豊かな自然を活かした多様で多彩な”食”産業 参加者:企業5社、学生33人 □第2回(8月10日) テーマ:キラリと光る”ものづくり”企業① 参加者:企業5社、学生29人 □第3回(8月31日) テーマ:キラリと光る”ものづくり”企業② 参加者:企業5社、学生27人 □第4回(9月7日) テーマ:静岡の魅力を戦略的に発信!”観光”産業 参加者:企業5社、学生32人 ■地元企業に就職した先輩と学生の縁結び事業「教えて先輩」 □第1回(12月11日) テーマ:「信金×銀行!」どう違うの?半沢直樹って実話? 参加者:先輩社員2人、学生18人 □第2回(12月17日) テーマ:あなたの「こだわり」が静岡を変える! 「クリエイター産業」 参加者:先輩社員2人、学生15人		
	総合計画の位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業評価		
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援				
		中施策	①企業と人材のマッチング				
産業振興プランの位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出・育成		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	夏休み期間に実施したため、帰郷している学生など県外の学生の参加もあった。 次年度は、首都圏での開催を実施し、市内企業の首都圏PRや首都圏大学に通う学生のUターンに繋げるなど、企業と学生のマッチングを促進していく。		
	基本方針	(4) 次代を担う人づくり					
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策担当		その他 (特記事項)				

事業 3	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成25年度				
	事業名	定年延長を見越した中高年技術研修の検討		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	セカンドライフの充実に向けて、中高年技術者等のニーズに基づいた技術や技能の向上に関する研修会開催を検討します。(若年層の育成や中小企業の技術力向上等を含む)		取組状況	H25.9.1 現在	<p>■今後の予定</p> <p>調査により、中高年の定年延長を見越した技術研修については、重要性を認識しつつも、多くの政令指定都市でも施策を実施していくことが難しいことが課題として挙げられた。今後、市内各関連団体との連携を強化し、効果的な支援の検討をしていく。</p> <p>また、市内において中高年が活動している事例を調査し、定年後のセカンドライフの充実に向けた施策の検討をする。</p>		
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在	(参加者数) 0人
	H26.3.31 現在	(参加者数) 0人	0 (%)					
	成果目標	参加者 30人/3年		事業結果	<p>■静岡市内の企業OBによる諸活動</p> <p>○NPO法人マンパワーカフェ</p> <p>当団体は静岡市商工会議所からの受託で「製造現場改善支援事業」を行っており、技術力向上支援では、技術に課題を持つ企業に対して熟練の支援者が現場に出向き技術支援等を行っている。</p> <p>○日立清水理科クラブ</p> <p>子どもたちの理科への関心を高めようと、小学生を対象にもものづくり教室や理科授業支援を行っている。会員は日立グループOBでありものづくりに長年携わってきた熟練者の集団である。本活動は未来を拓く児童・生徒の育成に寄与している。</p> <p>■中小企業の技術力向上のニーズについて</p> <p>(清水商工会議所、職業能力開発協会協議)</p> <p>○中小企業の多くは下請け企業であり、開発部等技術力向上のための部署を設けているところは少ない。また、ほとんどが自動制御による生産であり、技術力向上に対する意識が表面的には少ない。市商工会議所の製造現場改善支援事業の実績状況を踏まえると、技術力向上よりも、まずは現場改善や効率化等に関するニーズが高いことが伺えた。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>	<p>■一般に55歳以上になると子会社に向向して専門性に特化するため、中高年が専門的に特化していくのをどのようにサポートするか。という支援も考えられる。</p> <p>また、中高年技術者はその道で従事してきた方々であるため、新しいことを学ぶのは難しいかもしれない。</p>	
		大施策						
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向		<p>(事業担当) 記載事項</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■政令指定都市調査や関係団体との協議から、交流会を実施するよりも、既存団体との連携強化を図っていく方が、より効果的であると判断した。既存団体との連携強化に向けた情報共有、協議を進めていく。</p>				
所属部会	基本方針	<p>■技術者養成部会 部会員 ものづくり審議委員3人</p> <p>■事務担当 地場産業担当</p>						
	基本施策							
担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 地場産業担当</p>							

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成25年度			
	事業名	理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>市内外から優秀な人材を確保し、これらの人材の市内ものづくり産業への就業を促進させる観点から、市内に理工系大学を誘致することなどを検討する。</p> <p>理工系大学等は、新製品や加工技術の研究開発のほか、優れた人材を育成し、市内の中小製造事業所への人材供給機関として、その役割に大きな期待が寄せられる。併せて大学の教授陣と地元就業した卒業生との間における「人的ネットワーク」の形成からは、信頼関係のもとで、製品開発などに新たな事業展開の示唆を含めた支援・相談・共助機関としての役割にも期待が持てる。</p> <p>現在のところ、このような理工系大学等は静岡市になく、今後のものづくり産業（製造業）の振興を図る上では、極めて重要な視点であり、誘致等を検討する必要性から事業化された経緯がある。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	<p>■理工系大学との連携協定締結の検討</p> <p>大学の誘致や工学部の新設等には、直接的に結び付かないものの、理工系大学の研究成果等と地元の中小企業とのマッチングは必要性が高かったため、現状において取り組める具体的な対応策を検討した。その結果、地元の中小企業への支援策を進展させるためには、昨年度から協議を継続してきた静岡理工科大学との連携強化に向けて、相互に検討を進めることとした。</p>	
				進捗率	H25.9.1 現在	(%)	
					H26.3.31 現在	(%)	
	成果目標	3年間検討し、関係機関等との協議を含めた報告書を作成		事業結果	<p>■連携強化協定の締結</p> <p>①経緯 協定の締結にあたっては、産業経済分野の連携を主体としながらも、多様な連携強化の在り方を重視する観点から、本市に立地する各種専門学校等を含む学校法人静岡理工科大学との協定締結となった。</p> <p>②趣旨 本市と学校法人静岡理工科大学とがより緊密な連携のもとで、それぞれの資源や機能等の活用を図りながら、産業経済分野における人材育成及び地域産業の活性化に寄与することを目的とする。</p> <p>③締結日 平成26年3月17日</p> <p>④連携項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブ産業の振興 ・企業と研究室の活発な研究推進 ・その他 主催事業の相互協力、教育現場等との連携及び支援の検討、大学教員による支援など 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>(事務担当記載項目)</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>	<p>■最初の第1歩</p> <p>大学の誘致や工学部の新設等には至っていないが、大学の誘致等という長期的な取組みを模索する上においては、第1歩、或いは半歩の成果と言えるのではないかと。今後は、大学誘致等の検討を進める一方で、連携協定に基づく具体的な成果創出を求め、継続的な取組みを進めてほしい。</p>
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向		<p>(事業担当記載事項)</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■他機関との連携</p> <p>学校法人静岡理工科大学との連携を推進するとともに、地元中小企業のニーズを捉える意味などを含め、静岡商工会議所の製造業部会などとも連携し、大学誘致等の共通認識を持ちながら、事業の進展を図っていきたい。</p>			
	基本方針						
	基本施策						
所属部会	<p>■調査研究部会 部会員 ものづくり審議会委員3人</p> <p>■事務担当 産業経営担当</p>		<p>(事業担当記載事項)</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■他機関との連携</p> <p>学校法人静岡理工科大学との連携を推進するとともに、地元中小企業のニーズを捉える意味などを含め、静岡商工会議所の製造業部会などとも連携し、大学誘致等の共通認識を持ちながら、事業の進展を図っていきたい。</p>			
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当</p>						

事業 5	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成25年度			
	事業名	人材育成に係る各種講座、セミナー等の開催	予算額	産学交流センター指定管理料115,540千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部			
			決算額	産学交流センター指定管理料115,540千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部			
	事業概要	各産業支援施設において、中小企業の経営者・従業員の人材育成のため、大学や産業界で活躍する専門家の協力を得て、各種講座やセミナーを開催します。	取組状況 H25.9.1 現在	(産学交流センター) ・大学等起業家育成事業：開催校1校(静岡県立農業高校) 開催数 1回 受講者数 29人(今年度7校予定) ・マーケティング支援講座 開催数 5回 受講者数 384人 (清水産業・情報プラザ) ・情報化講演会 開催数 4回(延べ6日) 受講者数 116人			
				補足事項	進捗率等 H26.3.31 現在	(開催回数) H25 / 10回 (受講者数) H25 / 529人	(開催回数) 78.3 (受講者数) 48.6 (%)
	(開催回数) H24 / 37回 H25 / 33回 計 / 70回 (受講者数) H24 / 1,658人 H25 / 1,332人 計 / 2,990人	(開催回数) 116.7 (受講者数) 66.5 (%)					
	成果目標	開催回数 60回/3年 受講者数 4,500人/3年		事業結果	(産学交流センター) ・大学等起業家育成事業：開催校6校 (静岡県立農業高校、静岡県立駿河総合高校、静岡県立科学技術高校、静岡デザイン専門学校(2学科)、静岡福祉大学、静岡常葉学園大学) 開催数 12回 受講者数(延べ) 151人 ・マーケティング支援講座 開催数 13回 受講者数 918人 ・マーケティング支援講座以外の講座 開催数 2回 受講者数 93人 (清水産業・情報プラザ) ・女性のための創業セミナー 開催数 1回(全2回) 受講者数 28人 ・創業・経営セミナー 開催数 1回 受講者数 26人 ・情報化講演会 開催数 4回(延べ6日) 受講者数 116人		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業評価	(産学交流センター) ・マーケティング支援セミナーは、講座形式のものだけでなくより実践に近い形式のワークショップ形式のセミナーを増やすほか、地元経営者による講座等も企画し、参加者のニーズに応えるような講座を開催していく。 ・大学等起業家育成事業は、前年度に比べて参加人数が減少したが、開催数の減少と、大学での開催について授業の一部として実施できなかったことによるものである。次年度は、県立大学でも再度実施予定で、他の大学についても授業に組み込めるよう調整していく。さらには、高等学校については、普通高校も対象とし、広く公募していく予定である。 (清水産業・情報プラザ) ・女性のための創業セミナーは、受講者が予定より多かったことから、次年度も引き続き開催していく。 ・情報化講演会は、エクセル等の活用法だけでなく、最新で関心の高いテーマも設定して、引き続き開催していく。	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成				
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成 ②経営者・経営幹部の意識改革による経営能力の向上				
産業振興プランの位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等				
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他(特記事項)				

事業 6	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成25年度			
	事業名	若手後継者の技術習得支援 (伝統工芸技術保存講習会の開催)		予算額	1,871千円		
				決算額	1,629千円		
	事業概要	伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、木工などの講習会を行います。		取組状況 H25.9.1 現在	<p>■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹千筋細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間 平成25年5月7日(火)～9月24日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者7人</p> <p>②拭漆の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間 平成25年9月30日(月)～11月25日(月)でのうち7日間 受講生 木工関連業界関係者5人</p> <p>③竹千筋細工の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(駿河竹千筋細工) 期間 平成25年9月24日(火)～12月3日(火)までのうち11日間 受講生 竹業界後継者8人</p> <p>④木工指物の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間 平成25年9月5日(木)～12月12日(木)までのうち15日間 受講生 木工家具関連業界関係者8人</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間 平成25年10月22日(火)～平成25年3月11日(火)までのうち19日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者9人</p>		
		補足事項			進捗率	H25.9.1 現在	(受講者数) 7人 23.3 (%)
				H26.3.31 現在	(受講者数) 37人 123.3 (%)		
	成果目標	受講生 30人以上/年 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)		事業結果	<p>■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹千筋細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間 平成25年5月7日(火)～9月24日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者7人</p> <p>②拭漆の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間 平成25年9月30日(月)～11月25日(月)でのうち7日間 受講生 木工関連業界関係者5人</p> <p>③竹千筋細工の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(駿河竹千筋細工) 期間 平成25年9月24日(火)～12月3日(火)までのうち11日間 受講生 竹業界後継者8人</p> <p>④木工指物の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間 平成25年9月5日(木)～12月12日(木)までのうち15日間 受講生 木工家具関連業界関係者8人</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間 平成25年10月22日(火)～平成25年3月11日(火)までのうち19日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者9人</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業評価等	<p>【事務担当】 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>	<p>■講習会を開くだけでなく、講座で作品ができるのであれば、その作品の展示や販売など、学習成果の活用機会も同時に設定すれば受講者の励みになる。</p>
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	①研究開発力の強化				
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	<p>【事業担当】 記載事項</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■若手職人ネットワークの構築 伝統工芸技術保存のための後継者育成に加え、クラフトマンサポート制度で研修中の若手にも参加を呼びかけたことで、竹千筋細工の部では業界内の若手ネットワークが構築された。また漆器の部では新しい講師により製作品を更新したことで、新規参加の木工従事者と既参加の漆器業界の若手の交流が図られた。</p> <p>■作品展の開催 蒔絵の部では前年度の作品展を開催し、参加者の意欲を喚起した。</p>			
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進					
所属部会	<p>■技術者養成部会 部会員 ものづく審議会 3人</p> <p>■事務担当 地場産業担当</p>						
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 地場産業担当</p>						

事業 7	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成25年度				
	事業名	伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進・PR活動の促進		予算額	737千円			
				決算額	0千円			
	事業概要	<p>伝統工芸技術保存と後継者の育成を図るため、本市の伝統産業に長年従事する技術者の中から特に優秀な技術を有し、その伝承と産業の発展に対し功績が顕著である者の指定及び顕彰を推進します。併せてPR活動を促進します。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	<p>■伝統工芸技術秀士の指定者の検討 平成24年度に1名を顕彰したが、対象者不足により今年度は指定、顕彰を見送ることに決定。平成25年度は指定者なしとした。</p> <p>■PR活動の実施 伝統工芸技術秀士の作品展示等によるPR活動を行った(東京都内、各区役所、駿府匠宿、駿府楽市等)</p>		
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在	(%)
		H26.3.31 現在	(顕彰者) H24 / 1人 H25 / 0人 計 / 1人 (展示会等) H24 / 7回 H25 / 7回 計 / 14回	(顕彰者数) 50.0 (展示会等) 93.3	(%)			
	成果目標	平成26年度までに2名指定 (現在48人) 展示会等 15回/3年		事業結果	<p>■伝統工芸技術秀士の顕彰 伝統工芸技術秀士の顕彰者はなしとした</p> <p>■伝統工芸技術秀士のPR ・首都圏でのPR(新宿駅西口での映像放映、台東区2k540での作品展示及びパネル紹介等) ・市内でのPR(各区役所フロアでの作品展示 計4回、駿府楽市での常設展示、駿府匠宿での紹介映像通年上映)</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>	<p>■伝統工芸技術秀士のPR事業の今後の展開 認知度向上・PRにかかる事業をどのように実施していくか、また開催する展示会をより効果的にするための展示方法やPR方法等の工夫をしていくことが重要である。</p>	
		大施策						
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向		<p>(事業担当) 記載事項</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>匠宿での常設展示や実演のほか、各区役所等での企画展示、イベント等での実演をはじめ、首都圏PR事業の中での企画展示・秀士紹介DVD放映などを継続して実施しました。今後も、更に、秀士の認知度向上や宣伝に努めるよう、展示会をはじめ様々なPR方法について検討し、充実化を図ってまいります。 秀士の顕彰については、対象者の不足から未指定としました。今後も中長期的視点に立って顕彰者の選定にあたって参ります。</p>				
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	<p>■PR促進部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業経営担当</p>							
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 地場産業担当</p>							

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成25年度		
	事業名	クラフトマンサポート事業の拡充		予算額	5,400千円	
				決算額	4,450千円	
	事業概要	伝統産業を担う人材の確保、後継者育成のため、新規就業促進のための短期現場実習、後継者育成を図る長期現場実習、ものづくりで生計を志す方への独立支援補助事業を拡充します。		取組状況 H25.9.1 現在	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 2名 (600千円)	
					(2) 地域産業現場実習長期支援者数 3名 (3,600千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)	
	補足事項	進捗率	H25.9.1 現在	(短期支援) H25 / 1人	(短期支援) 50.0	(%)
				(長期支援) H25 / 3人	(長期支援) 50.0	
	H26.3.31 現在	(短期支援) H25 / 1人	(短期支援) 33.3	(短期支援) 50.0	(長期支援) 100.0	(%)
		(長期支援) H24 / 2人	(長期支援) 66.7			
	成果目標	短期支援6人/3年、長期支援9人/3年 独立支援3人/3年(各人数は延べ) ※長期支援は期間拡充		事業結果 (1) 地域産業現場実習短期支援者数 1名 (300千円) (2) 地域産業現場実習長期支援者数 3名 (3,600千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31) (3) 地域産業独立支援補助金交付者数 1名 (550千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援				
	大施策	(1) 地域経済を担う多様な人材の活用と育成				
産業振興のプラン位置付け	中施策	④高度で専門的な知識・技能をもつ人材の活用と育成	事業評価等 (事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項			
	基本方針	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成				
	基本方針	(4) 次代を担う人づくり				
事業担当課等	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養	(事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等			
	基本施策	■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地域産業担当				
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 地域産業担当		このクラフトマンサポートについては年間15件程の問い合わせが当課にあり、大半が県外からの問い合わせですが、県外の希望者の場合、交通費や日常生活費の関係、また実施後の雇用や生活不安を説明すると、大部分の方が断念します。 そういった点から、伝統産業界の新たな人材の受け入れ環境等について、検討していく必要があります。			

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成25年度			
	事業名	技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討	予算額	0千円			
			決算額	0千円			
	事業概要	<p>本市のものづくり産業の力量形成に向けて、確かな技術や技能は必須条件の一つであるため、技能検定の受験及び技能五輪大会への参加等を旨ず技術者や事業所等に対して、費用助成等の支援を検討する。</p>	取組状況	H25.9.1 現在	<p>■静岡市内の関係団体と情報共有、連携強化に向けて協議を行う。この中で、補助の要件、申請方法、交付先などについて、詳細に検討するにあたり、静岡市における実態やニーズの把握に努める。</p> <p>■平成25年度の他都市調査結果、平成26年度ヒアリング結果を参考に、補助の要件、申請方法、交付先などについて、検討を進める。</p>		
				補足事項	進捗率	H25.9.1 現在	0 (%)
	H26.3.31 現在	0 (%)					
	成果目標	補助金等交付要綱などの支援制度の整備		事業結果	<p>市内関係団体の支援状況について、ヒアリングを実施した。</p> <p>■静岡県職業能力開発協会 □技能検定・技能五輪に係る実態について ・市内事業者からの技能五輪全国大会の出場実績 ・技能五輪に係る中小企業のニーズ ほか ・一大企業の出場が多数で、中小企業のニーズ・大会出場はほとんどない。 ・技能検定受験は、年間7000名の受験があり、製図、CADの受験が多い。 受験料の支援に係るニーズは多い。 □技能五輪に向けた支援策について ・ものづくりマイスター制度 高度な技術を有するものづくりマイスターが、中小企業等で実技指導を行うもの。 ■静岡商工会議所 □製造現場改善支援の実態について ・中小企業のニーズとして、技術力向上に向けたニーズは少なく、技能五輪に関連するニーズはほぼない。 ・現場作業改善コース(5S)に係る支援が多い。 ・技術力向上コースでは、ロバストデザインに係るニーズが増えている。</p> <p>平成25年度の他都市調査結果、平成26年度のヒアリング結果を参考に、補助の要件、申請方法、交付先などについて、検討した。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等		
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向		(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項				
	基本方針						
	基本施策						
所属部会	■技術者養成部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当		(事業担当) 記載事項 改善点 ・目標の未達成理由等				
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当 主査 望月正博 (内線) 81-6641						

事業 10	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成25年度				
	事業名	若手グループの商品開発支援 (ものづくり相談・支援)		予算額	1,140千円			
				決算額	848千円			
	事業概要	市内地場産業の活性化のために、デザイン、技術、経営等に関する各種講演会や指導会のほか、実技指導も含めた技術講習会の開催や、専門家による新商品開発指導など、ものづくりに対する相談を行います。		取組状況 H25.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 一 関張実技講習会の実施 (計4回、参加者各9名) ■講演会の開催 BCP講演会 (1回、参加者41名) 椅子技術講演会 (1回、参加者13名) ■商品開発事業の開催 漆器商品開発研究会 (計5回) 乾漆商品開発研究会 (計12回) ■専門家派遣の実施 乾漆商品開発指導 (1回、参加者12名) 家具業界向現況指導 (1回、17名) 			
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在	(技術講習会開催数) (講習会等開催数)
	H26.3.31 現在	(技術講習会開催数) 4回 (講習会等開催数) 21回	(技術講習会開催数) 400.0 (講習会等開催数) 420.0				(%)	
	成果目標	技術講習会 1回/年 講習会等 5回/年 (新商品開発事業の推進等)		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 一 関張実技講習会の実施 (計4回、参加者各9名) ■講演会の開催 BCP講演会 (1回、参加者41名) 椅子技術講演会 (1回、参加者13名) ■商品開発事業の開催 漆器商品開発研究会 (計5回) 乾漆商品開発研究会 (計12回) ■専門家派遣の実施 乾漆商品開発指導 (1回、参加者12名) 家具業界向現況指導 (1回、17名) 			
	総合計画の位置付け (分野別)	政策方針			事業評価等	<ul style="list-style-type: none"> ■業界把握について 現在存続している若手グループは把握できているか ■事業内容について どうしても残さなければならない技術の把握を確認し、その講習会、講演会を開催した方がよい。 講習会等で技術向上・商品開発については研究されているようですが、販路開拓に関する講習会が行われていない。 		
		大施策						
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 〔事務担当記載項目〕 所属部会からの意見及び指摘事項 	<ul style="list-style-type: none"> ■専門家派遣による乾漆商品開発の実施 漆器の商品開発事業として著名専門家を継続的に派遣することで技術向上を促進した。 ■漆器商品流通化の実施 流通アドバイザーの継続的指導により流通化について学び東京及び地元で催事に参加し、既開発の漆器商品の流通化を模索した。 				
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進						
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進						
所属部会	<ul style="list-style-type: none"> ■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業担当 		<ul style="list-style-type: none"> 〔事業担当記載事項〕 改善点・目標の未達成理由等 					
事業担当課等	<ul style="list-style-type: none"> 経済局商工部 地域産業課 地場産業担当 							

事業 11	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成25年度				
	事業名	地場産品及び伝統工芸品等の販路開拓推進		予算額	17,286千円			
				決算額	16,947千円			
	事業概要	伝統工芸品のインターネット通販、駿府楽市特産品展示コーナーの運営等により、地場産品や伝統工芸品等の販路開拓を図ります。		取組状況 H25.9.1 現在	JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間28回の展示会を開催する。(年間来場者数500,000人) 駿河区丸子「駿府匠宿」ギャラリーにおいて年間23回の展示会を開催予定。(年間来場者数272,560人)			
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在	(イベント開催回数) 24回
	H26.3.31 現在	(イベント開催回数) 51回	(イベント開催回数) 102.0 (%)					
	成果目標	各種展示販売イベント 50回/年 (駿府楽市や駿府匠宿のギャラリー等)		事業結果	■特産品展示販売 JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間28回の展示会を開催した。(年間来場者数411,230人) 駿河区丸子「駿府匠宿」ギャラリーにおいて年間23回の展示会を開催した。(年間来場者数272,560人)			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	〔事務担当記載項目〕 所属部会からの意見及び指摘事項		
		大施策						
		中施策						
	産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	〔事業担当記載事項〕 改善点・目標の未達成理由等	ここ数年において静岡駅の乗降客の減少が売り上げに影響し、苦戦を招いている。これはJR静岡アスティー全体の問題でもあり、現状、打開策が見いだせていない状況である。			
基本方針		(1) マーケットを重視した事業展開の促進						
基本施策		③販路開拓支援						
所属部会	■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当							
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当							

事業 12	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成25年度		
	事業名	全国規模等の見本市への出展助成強化	予算額	14,100千円		
			決算額	14,019千円		
	事業概要	市内中小企業製造業者が市内外で行われる全国規模または国際的な展示会・見本市等に出展する経費のうち小間料について、助成を拡大します。	取組状況 H25.9.1 現在	■平成25年度9月1日現在、補助申請件数は31件(30件)ございます(相談中の企業数は含まない)。また、その執行額は9,376千円(7,951千円)となっております。 ※()内は平成24年9月1日の数値		
				補足事項	進捗率 H25.9.1 現在	(助成件数) H25 / 31件
	H26.3.31 現在	(助成件数) H24 / 50件 H25 / 52件 計 / 102件	(助成件数) 72.9 (%)			(参考) 対予算執行額 (予算執行額) 99.4
		成果目標	助成件数 140件/3年 (1社当たり、国内外各1回の計2回/年に強化)		■申請件数: 50件 執行額: 14,019千円(平成26年3月31日現在) ■申請企業数は1社減となったが、執行率についてはほぼ満額執行となった。 ■当補助金を利用した50社の内、海外展示会への出展を行った企業数は4社であり、昨年と比較し1件増加した。また、補助金利用企業の内新規利用が7社あり、徐々に補助金の周知が図られている。 ■信用金庫を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。 ■平成24年度に制度を利用した企業に対しアンケートを実施。ニーズ把握等に努めた。	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化			
		中施策	②経営基盤とマーケティング力の強化			
	産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業評価等	(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項
		基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進			
基本施策		③販路開拓支援				
所属部会	■商品開発部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 工業支援担当		(事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等	■静岡市事務事業市民評価会議からの意見を反映し、同一会場で行われる同一の展示会に対する補助は3回までとする規定を設ける。また、従来の補助対象事業者であっても、「みなし大企業」に該当する場合は、補助対象事業者から除く規定も併せて設ける。 ■申請件数は目標を下回ったものの、執行率はほぼ満額執行となった。今後新規利用者が増えることを想定すると、来年度以降は予算が枯渇する可能性があるため、対応を検討していく。		
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 工業支援担当					

事業 13	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成25年度		
	事業名	中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供)		予算額	0千円	
				決算額	0千円	
	事業概要	新規顧客開拓や新分野進出を目指す市内企業を支援するため、情報発信やビジネスマッチングの機会提供を推進します。		取組状況 H25.9.1 現在	<p>■まちながき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おおた研究・開発フェア 10月3日・4日 募集終了 参加企業1社 ・おおた工業フェア 2月13日～15日 募集終了 参加企業1社 ・市内企業技術PR冊子「静岡匠工巧ナビ」を活用したビジネスマッチング提案</p> <p>■販路開拓事業 (産業政策課) 民間コーディネーターの人脉を活用した「食」の海外展開支援のための台湾バイヤー商談会</p> <p>【今後の予定】 ・おおた研究・開発フェア 10月3～4日 1社 ・おおた工業フェア 2月13～15日 1社 ・市内企業技術PR冊子「静岡匠工巧ナビ」を活用したビジネスマッチング提案</p>	
					補足事項	進捗率等 H26.3.31 現在
	成果目標	支援事業への参加企業数 30社/3年 新規顧客開拓件数 6件/3年 新分野進出・業務転換企業数 3社/3年		<p>■まちながき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おおた研究・開発フェア (太田区) 10月3～4日 出展企業1社 ものづくり受発注商談会 10月5日 参加企業1社 ・おおた工業フェア (太田区) 2月13～15日 参加企業1社 ・市内企業技術PR冊子「静岡匠工巧ナビ」を活用し、首都圏企業5社に 市内企業7社の情報を提供し、ビジネスマッチングを提案</p> <p>■販路開拓事業 (産業政策課) 「食」の海外展開支援のための台湾バイヤー商談会 5月1日・2日 台湾バイヤー7社と静岡側セラー37社の商談会実施</p> <p>◇支援事業への参加企業 53社 ◇新規顧客開拓件数 2件 ◇新分野進出・業務転換企業数 6件</p>		
	総合計画の位置付け (分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
	まちながき戦略推進プランの位置付け	ビジョン	「鳥の眼」ビジョン			
		政策の柱	地元産業の活性化			
	産業振興プランの位置付け	基本方向				
		基本方針				
基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企業立地担当		その他 (特記事項)	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>金融機関との連携についてさらなる充実を図る。 また、オンリーワン・ナンバーワン企業の発掘と、その技術や製品の効果的な情報発信を行っていく。</p>		

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度		
	事業名	マーケティング支援講座の実施	予算額	指定管理料115,540千円の一部		
			決算額	指定管理料115,540千円の一部		
	事業概要	産学交流センターにおいて、中小事業者等のマーケティング発想の醸成を図り、市場ニーズに対応した製品・サービスの開発を支援するため専門家等によるセミナー・研修を実施します。	取組状況 H25.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 5回 受講者数 384人 (内訳) ・5/15「今、モノづくりから、ブランドづくりへ・・・」 受講者数 106人 ・6/6「中小企業・起業家のためのマーケティング情報収集手法」 受講者数 64人 ・6/27「中小企業のブランド価値の伝え方」 受講者数 74人 ・7/16「顧客感動を呼ぶ「共感の時代」の商品開発とは？」 受講者数 80人 ・8/8「ヒットを生む「発見力」の鍛え方」 受講者数 37人 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 8回 		
				補足事項	進捗率等	H25.9.1 現在 (開催回数) H25 / 5回 (受講者数) H25 / 384名 (開催日数) 47.2 (%) (受講者数) 60.0 (%)
	成果目標	開催回数 36回/3年 受講者数 2,100人/3年 (※再掲 事業5の内数)		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 5回 受講者数 384人 (内訳) ・5/15「今、モノづくりから、ブランドづくりへ・・・」 受講者数 106人 ・6/6「中小企業・起業家のためのマーケティング情報収集手法」 受講者数 64人 ・6/27「中小企業のブランド価値の伝え方」 受講者数 74人 ・7/16「顧客感動を呼ぶ「共感の時代」の商品開発とは？」 受講者数 80人 ・8/8「ヒットを生む「発見力」の鍛え方」 受講者数 37人 ・9/4「ニーズの2歩先経営でファンの顧客を3倍にする方法」 受講者数 90人 ・10/10「消費税増税で商売繁盛する仕組み」 受講者数 42人 ・11/12「すぐに使える!売上アップの販売促進術」 受講者数 80人 ・12/10「お客様の怒りを笑顔に変えるコミュニケーション術」 受講者数 79人 ・1/9「クルマを売りたいなら、クルマの話はやめなさい!」 受講者数 96人 ・2/8「ソーシャル時代のプレスリリース作成講座」 受講者数 23人 ・2/26「モノの魅せ方と伝え方」 受講者数 67人 ・3/19「吉本興業 熱海に『住みます専務』が語る「地域密着型ビジネス戦略」」 受講者数 57人 	
		総合計画の位置付け(分野別)	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援 大施策 (2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成 中施策 ③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成 ②経営者・経営幹部の意識改革による経営能力の向上		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 講座形式のものだけでなくより実践に近い形式のワークショップ形式のセミナーを増やすほか、地元経営者による講座等も企画し、参加者のニーズに応えるような講座を開催していく。
	産業振興プランの位置付け	基本方向 2 生活の質を高める産業の振興 基本方針 (1) マーケットを重視した事業展開の促進 基本施策 ①マーケティング力の強化	その他(特記事項)			
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当				

事業 15	ものづくり 基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度								
	事業名	専門家による窓口相談		予算額	中小企業支援センター運営補助金33,600千円の一部							
				決算額	中小企業支援センター運営補助金33,600千円の一部							
	事業概要	中小企業支援センターにおいて、 専門の異なる中小企業診断士等による 窓口相談を実施します。		取 組 状 況 H25.9.1 現在	窓口相談企業数 158社 窓口相談件数 195件 (業種別内訳) 製造業19件、卸売業7件、建設業6件、小売業16件、 サービス業130件、その他12件 (支援内容別内訳) 創業114件、経営革新13件、その他68件							
					補 足 事 項	進 捗 率 等	H25.9.1 現在	(相談件数) H25 / 203件	(相談件数) 75.3 (%)			
	H26.3.31 現在	(相談件数) H24 / 475件 H25 / 526件 計 / 1,001件	(相談件数) 111.2 (%)									
	成果目標	相談件数 900件/3年		事業 評 価								
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産 業構造の知的高度化					事業 結 果	窓口相談企業数 398社 窓口相談件数 518件 (業種別内訳) 製造業48件、卸売業9件、建設業10件、小売業61件、 サービス業355件、その他35件 (支援内容別内訳) 創業272件、経営革新17件、その他159件			
		大 施 策	(2) 地域産業の活力強化						次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等			
		中 施 策	③経営基盤とマーケティングカ の強化									
	産業振興 プランの 位置付け	基本 方向										
		基本 方針										
		基本 施策										
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)								

事業 16	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度			
	事業名	コンサルティングの実施		予算額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部		
				決算額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部		
	事業概要	中小企業支援センター及び清水産業・情報プラザにおいて、専門家を事業者に派遣し、問題解決のための診断・助言を行います。		取組状況 H25.9.1 現在	【中小企業支援センター】 ・専門家派遣企業数 15社 ・専門家派遣件数 24件 (派遣内容内訳) 経営全般10件、IT5件 (派遣業種内訳) 製造業2件、サービス業10件、その他3件 【清水産業・情報プラザ】 ・専門家派遣件数11件 (派遣内容内訳) 現場作業改善コース8件、BCP策定コース1件、品質向上コース1件、 HACCPコース1件 (派遣業種内訳) 製造業7件、卸売業3件、印刷業1件		
					補足事項	進捗率等	H25.9.1 現在
				H26.3.31 現在	(派遣回数) H24 / 112件 H25 / 120件 計 / 232件	(派遣回数) 35.2 (%)	
	成果目標	派遣回数 660件/3年					
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業 構造の知的高度化		事業結果	【中小企業支援センター】 ・専門家派遣企業数 56社 ・専門家派遣件数 109件 (派遣内容内訳) 経営全般49件、マーケティング16件、IT20件、 その他24件 (派遣業種内訳) 製造業21件、卸売業0件、建設業3件、小売業5件、 サービス業 67件、その他 13件 【清水産業・情報プラザ】 ・専門家派遣件数 11件 (派遣内容内訳) 現場作業改善コース8件、BCP策定コース1件品質向上コース1件、 HACCPコース1件 (派遣業種内訳) 製造業7件、卸売業3件、印刷業1件	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興プランの位置付け	基本方向			事業評価			
	基本方針				次年度に向けた改善点・ 目標の未達成理由等	【中小企業支援センター】 支援機関との連携や相談窓口から活用できるようにしていくなど、利用率増加に努める。 【清水産業・情報プラザ】 専門家派遣件数の増加を目指すとともに、成果を共有できるように発表会を開催する。	
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他(特記事項)				

事業 17	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度			
	事業名	専門家の指導による商品企画・開発支援		予算額	指定管理料115,540千円の一部		
				決算見込額	指定管理料115,540千円の一部		
	事業概要	産学交流センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を活かした商品づくりに対する支援を行います。		取組状況 H25.9.1 現在	【「静岡おみやプロジェクト」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成25年6月13日～平成25年3月末 ・参加企業数 6社 ・9月1日現在において、マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の商品企画及び企画書精査を実施。 【今後の予定】 ・デザイナーによる講義を経たのち、テストマーケティング(11月下旬) ・東京での試食評価会(1月) ・成果発表会及び販売会(3月)		
					補足事項	進捗率等 H25.9.1 現在	(支援プロジェクト数) H25 / 2件
			H26.3.31 現在	(支援プロジェクト数) H24 / 1件 H25 / 1件 計 / 2件	(支援プロジェクト数) 66.7 (%)		
	成果目標	商品企画・開発支援プロジェクト プロジェクト数 3件/3年					
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	【「静岡おみやプロジェクト」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成25年6月13日～平成25年3月末 ・参加企業数 6社 ・マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応、デザイナーによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の開発及び商品パッケージの完成。 ・11/30、12/1 テストマーケティング実施 ・1/29 商談会実施 ・3/5 成果発表会実施 ・3/29・30 お披露目販売会実施	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	③ 経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興プラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 次年度以降は、観光の視点を取り入れた新しい切り口で商品開発を実施していく予定である。		
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	① マーケティング力の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他(特記事項)				

事業 18	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度		
	事業名	起業に向けたビジネスプラン策定等の支援	予算額	SOHOしずおか運営補助金14,500千円及び産学交流センター指定管理料115,540千円の一部		
			決算見込額	SOHOしずおか運営補助金14,500千円及び産学交流センター指定管理料115,540千円の一部		
	事業概要	新規に事業展開を目指す事業者等を対象にコンテストを実施、受賞者に対する事業化に向けた支援を実施します。	取組状況 H25.9.1 現在	10月25日を応募期限として、ビジネスプランを募集中。 9月1日までに、セミナー開催数 2回実施、受講者数 30人		
				【今後の予定】 ・応募締め切り 10月26日 ・書類審査 11月上旬 ・プレゼン審査 11月29日、11月30日 ・最終審査会 2月24日		
	補足事項		進捗率等 H25.9.1 現在			
				(コンテスト応募件数) H24 / 112件 H25 / 71件 (応募件数) 88.8 (%)		
	成果目標	コンテスト応募件数 80件/年				
	総合計画の位置付け(分野別)	IV産業・経済 政策方針 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	事業結果 ビジネスプランは、71件の応募があった。 書類審査(11月上旬実施)において、プレゼン審査に進出する一般部門15者、学生部門9者を選出。 プレゼン審査(11月30日、12月1日実施)において、最終審査会に進出する一般部門6者、学生部門4者を選出。 最終審査会を2月24日(月)に実施。審査会終了後、表彰式及び交流会を実施。 本事業に関するセミナー開催数 実施回数4回 参加者数74人			
		大施策 (2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成				
中施策 ③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成						
産業振興プラン位置付け	基本方向 4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等				
	基本方針 (1) 創業支援					
	基本施策 ①インキュベート機能の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他(特記事項)			

事業 19	ものづくり 基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度			
	事業名	創業者等の営業機会拡大等のための 各種事業の実施		予算額	清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円及び SOHOしずおか運営補助金14,500千円の一部		
				決算見込額	清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円及び SOHOしずおか運営補助金14,500千円の一部		
	事業概要	清水産業・情報プラザ及びSOHO しずおかにおいて、創業者等の経 営相談や営業機会拡大等のための各 種事業を実施します。		取 組 状 況 H25.9.1 現在	(清水産業・情報プラザ) ・専門アドバイザーによる定期相談 22回 46件 (情報化 34件、創業 7件、法律 3件、特許 2件) (SOHOしずおか) ・起業相談 117件 ・経営相談 245件 ・ブレイクスルーセミナーの開催 開催数 2回、参加者数117人 ・その他、イノベーションセミナー、勉強会、創業応援塾の開催		
					補 足 事 項	進 捗 率 等	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(相談件数) H24 / 1,602件 H25 / 931件 計 / 2,533件	(相談件数)	211.1 (%)			
	成果目標	相談件数 1,200件/3年 営業機会拡大等に関する各種支援の実施		事 業 評 価	事業結果 (清水産業・情報プラザ) 専門アドバイザーによる定期相談 開催回数 22回 相談件数 46件 (SOHOしずおか) ・起業相談 265件 ・経営相談 620件 ・ブレイクスルーセミナーの開催 開催数 2回、参加者数117人 ・その他、イノベーションセミナー、勉強会、創業応援塾の開催		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した 産業構造の知的高度化				
		大 施 策	(2) 地域産業の活力強化				
		中 施 策	③経営基盤とマーケティングカ の強化				
産業振興 プラン 位置付け	基本 方向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	(清水産業・情報プラザ) 来年度も定期相談を開催するが、相談者に対するフォローアッ プに取り組み、特に創業者の増加につなげていく。			
	基本 方針	(1) 創業支援					
	基本 施策	①インキュベート機能の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		そ の 他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成25年度			
	事業名	専門家の指導等による商品企画・開発等支援の拡充(新商品・特許)		予算額	7,150千円		
				決算見込額	6,951千円		
	事業概要	市内中小企業・製造業者が行う新商品開発及び特許等の産業財産権出願などに関する経費の一部を助成します。また、助成事業の範囲を拡充します。		取組状況 H25.9.1 現在	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、9月1日現在、4件の補助金交付申請を受理しています。今後、1月末までに中間検査を実施し、年度末の事業完了報告を経て補助金を交付します。(交付見込額: 3,490千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 平成25年度から商標登録出願を補助対象に新たに加えたことにより、9月1日現在、補助金交付申請件数17件と昨年比べて増加しました。 特許: 8件、意匠: 2件、実用新案: 1件、商標: 6件 今後、事業完了報告を経て補助金を交付します。 (交付見込額: 1,583千円)</p>		
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(新商品助成件数) H24 / 3件 H25 / 4件 計 / 7件 (産業財産権助成件数) H24 / 20件 H25 / 33件 計 / 53件 (参考) 2事業合計対予算執行率	(新商品助成件数) 58.3 (産業財産権助成件数) 84.1 (予算執行率) 97.2 (%)				
	成果目標	新商品 12件/3年 産業財産権 63件/3年 (対象事業を拡充)		事業結果	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理しました。中間検査で現地訪問により進捗状況を確認したところ、各事業所とも課題点等はあったもののおおむね順調に開発を進めていた。年度末の事業完了報告を受け補助金を交付した。 (交付金額: 3,490千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 年度末までに次のとおりの交付申請があった。 申請件数33件 (内訳) 特許 17件、意匠 3件、実用新案 3件、商標 10件 (交付金額: 3,461千円)</p> <p>■事業の周知活動 昨年に引き続き、各関係団体に対して本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めるとともに、今年度は、市内信用金庫を中心に大規模展示会出展等支援事業補助金と併せて周知を行った。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経営 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項</p>	
		大施策	(3) 知的産業を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	①研究開発力の強化				
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	<p>(事業担当) 記載事項</p>	<p>改善点・目標の未達成理由等</p> <p>中小企業者支援を明確にするため、「みなし大企業」に該当する場合は、補助対象事業者から除く規定を設ける。</p>			
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	①マーケティング力の強化					
所属部会	<p>■商品開発部会 部会員 ものづくり審議会委員 ■事務担当 工業支援担当</p>						
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 工業支援担当</p>						

事業 21	ものづくり基本計画	(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4)経営資源確保のための環境整備		平成25年度				
	事業名	大学等研究機関への相談機会の拡充		予算額	指定管理料115,540千円の一部			
				決算見込額	指定管理料115,540千円の一部			
	事業概要	<p>市内のものづくり事業者の大学等研究機関に対する相談機会の拡充を図る。静岡市ものづくり産業振興基本計画を策定するにあたり、市内中小事業者等へのヒアリングを実施したところ、次のようなコメントが多数聴かれた。</p> <p>■中小事業者の主なコメント 「商品開発への取組みに際して、大学等の研究機関に相談を掛けたいと思う機会が度々あるが、具体的にどこへどのように行ってよいのか分からない。」 「大学等の研究機関に相談できず、解決策に行き着かないまま終わってしまうことが多々ある。」</p> <p>そのため、中小事業者の多様なニーズを汲み取るとともに、大学等の研究機関などとの結び付きを図る中間支援機能が必要とされていることから、今回の基本計画の策定に際して事業化が図られた経緯がある。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	<p>■地域産業課 (静岡商工会議所製造業部会事務局等) ・相談機会の拡充に向けた打合せ会(開催予定) (その他) ・中小企業への相談機会の周知に関する打合せ会(開催予定)</p> <p>■産業政策課 (産学交流センター) ・中小企業向け大学見学会(静岡大学)を実施予定。 ・静岡地区産学連携コーディネーター会議 毎月1回開催</p>		
					進捗率等	H25.9.1 現在	(開催回数)	(%)
						H26.3.31 現在	(開催回数) H24 / 2回 H25 / 1回 計 / 3回	(開催回数) 50.0
	成果目標	相談機会 6回/3年		事業評価	<p>■地域産業課 (静岡商工会議所製造業部会) ・製造業部会において、中小企業が抱える課題等に関し、大学への相談を通じた課題解決を促す説明を実施した。 (静岡理科大学への相談) ・静岡理科大学を訪問し、市内中小企業の課題解決に向けた取組に対して協力を依頼した。</p> <p>■産業政策課 (産学交流センター) ・12月10日中小企業向け大学見学会(静岡大学)を実施。 参加企業数9社 ・静岡地区産学連携コーディネーター会議 毎月1回開催</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興プランの位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等</p>	<p>■地域産業 次年度は、静岡商工会議所製造業部会との連携を強化する中で中小企業のニーズと大学の研究成果等の結び付きが円滑に実施されるように、当該部会等との連絡調整を進めていく。</p> <p>■産業政策課 次年度は、産学連携コーディネーターによる企業訪問や相談を強化し、中小企業のニーズの掘り起しや大学とのマッチングに努めていく。</p>				
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当 産業政策課 新産業担当</p>		その他(特記事項)					

事業 22	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度			
	事業名	産学官交流事業の推進		予算額	産学交流センター指定管理料115,540千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部		
				決算見込額	産学交流センター指定管理料115,540千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部		
	事業概要	中小企業の新商品開発、新事業進出などを支援するため、産学交流センターや清水産業・情報プラザにおいて、情報提供や大学と企業との交流・連携事業を実施します。		取組状況	H25.9.1 現在	(産学交流センター) ・9月1日現在、実績なし ・今後の予定 地域課題に係る産学共同研究委託事業における研究成果発表会の後、交流会を開催予定(平成26年3月) (清水産業・情報プラザ) ・産学官講演会・交流会 開催数 7回、受講者数408人	
					進捗率等	H25.9.1 現在	(交流会開催数) H25 / 7回
				H26.3.31 現在		(交流会開催数) H24 / 7回 H25 / 8回 計 / 15回	(交流会開催数) 71.4 (%)
	成果目標	交流会開催数 21回/3年 交流・連携に関する情報提供の実施		事業 評価	事業結果 (産学交流センター) 平成26年3月14日 地域課題に係る産学共同研究委託事業における研究成果発表会の後、交流会を開催。参加者数80名 (清水産業・情報プラザ) ・産学官講演会・交流会 開催数 7回、受講者数408人		
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	(産学交流センター) 事前告知等を十分に行ったが、成果発表会及び交流会が他の支援機関の成果発表会と重なってしまった。参加人数に影響はなかったものの、次年度以降は調整したうえで開催する。 (清水産業・情報プラザ) 交流会で終わらず、成果が出るように、追跡調査に努めていく。			
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・ 研究開発の支援					
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の 推進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)				

事業 23	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度				
	事業名	異業種交流事業の推進		予算額	128千円			
				決算見込額	128千円			
	事業概要	地域経済の活性化、新産業及び新事業の創出を促進する各種団体への助成等を行うことにより、異業種間の交流を行い、情報、技術等の交換により、相互交流事業の推進と経営意識の高揚、経営ノウハウの構築を推進します。		取組状況	H25.9.1 現在 静岡商工会議所異業種企業交流会の会員を対象に講演会を開催 ・講演会開催数 4回、参加者数 129人 ・視察会 1回、参加者数 11人			
		補足事項			進捗率等	H25.9.1 現在		
					H26.3.31 現在	講演会等 ・開催数 20回 ・参加者数 650人		
	成果目標	異業種交流を推進する団体への助成		事業 評価	事業結果 静岡商工会議所異業種企業交流会の会員を対象に講演会を開催 ・講演会開催数 9回、参加者数 323人 ・視察会 2回、参加者数 20人			
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	異業種の交流がもっと活発になるような運営方法を検討していく。			
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・ 研究開発の支援						
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の推進						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)					

事業 24	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度			
	事業名	メーカーとクリエイターのマッチング・ ブランド化の支援		予算額	6,600千円の一部		
				決算見込額	6,600千円の一部		
	事業概要	海外を含む著名なクリエイターと 地域企業、地元クリエイターと海外 企業、あるいは地域のクリエイター と企業とのビジネスマッチングによ り、高い付加価値を持った新商品の 開発・ブランド化等を推進します。		取 組 状 況 H25.9.1 現在	参加企業5社決定。		
					補 足 事 項	進 捗 率 等 H25.9.1 現在	
	H26.3.31 現在	(新商品開発件数) H24 / 6件 H25 / 5件 計 / 11件	(新商品開発件数) 366.7 (%)				
		成果目標	マッチングによる新商品開発数 3件/3年		事 業 評 価	事業結果 参加企業5社とクリエイターによる新商品開発を実施。	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した 産業構造の知的高度化			次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	補助対象団体は、積極的に外部資金を取りに行くなど、商品開 発に必要な資金を努力して獲得する必要がある。
		大 施 策	(1) 地域の特性を活かした多彩な 産業の集積促進				
		中 施 策	②創業と新事業展開の推進 強化				
産業振興 プラン 位置付け	基本 方向	3 次代を担う産業集積の構築		その 他 (特記事項)			
	基本 方針	(1) 新産業クラスターの形成					
	基本 施策	②コンテンツ産業の振興					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当						

事業 25	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度			
	事業名	農商工連携の推進		予算額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円の一部		
				決算見込額	中小企業支援センター運営補助金33,660千円の一部		
	事業概要	第一次製品の生産拡大を包括した マーケティング支援事業を展開、専 門家を活用し、地域資源を活用した 既存商品を、さらに「売れる商品」 に向上させるための事業を実施しま す。		取 組 状 況	H25.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ・事業体の掘り起こし支援 中小企業支援センターにおいて、新連携事業、地域資源活用プ ログラム、農商工連携の国の事業認定申請につながる事業体の掘 り起こし等の支援を実施中。(静岡県中小企業団体中央会と連携) ・情報収集、意見交換 中部地域6次産業化ネットワーク連絡会(事務局:静岡県中部 農林事務所)に出席。 	
		補 足 事 項			進 捗 率 等	H25.9.1 現在	
						H26.3.31 現在	事業体の掘り起こし 5者
	成果目標	農商工連携による商品開発への支援		事 業 評 価	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業体の掘り起こし支援 中小企業支援センターにおいて、新連携事業、地域資源活用プ ログラム、農商工連携の国の事業認定申請につながる事業体を計 5者掘り起こし、支援を実施した。 ・6次産業化・農商工連携に関する情報収集、意見交換 中部地域6次産業化ネットワーク連絡会(事務局:静岡県中部 農林事務所)に出席 	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針					
		大 施 策					
		中 施 策					
産業振興 プラン 位置付け	基本 方 向	2 生活の質を高める産業の振興					
	基本 方 針	(1) マーケットを重視した事業展 開の促進					
	基本 施 策	②生産・流通・消費の連携促進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		そ の 他 (特記事項)		農業者政策課とともに、来年度の6次産業化・農商工連携の事業 スキームについて協議する。		

事業 26	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度		
	事業名	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進		予算額	2,000千円	
				決算見込額	2,000千円	
	事業概要	<p>県のプロジェクトに参加、プロジェクトで得られた成果を普及し、地域産業界における事業化を促すとともに、産学官連携の一層の強化、次代を担う人材育成等を行います。</p>		<p>取組状況</p> <p>H25.9.1 現在</p>	<p>・フーズ・サイエンスセミナーin静岡の実施 6月19日 参加者数 157人</p> <p>・技術相談会・マーケティング相談会の実施 7月3日 相談件数 10件</p> <p>・食品等開発研究会の参加企業及びテーマの決定 市内企業数4社 テーマは菓子、珍味、飲料、惣菜、空港就航地の5部会</p> <p>・今後の予定 フーズ・サイエンスセミナー 2回実施(焼津市、藤枝市) 技術相談会・マーケティング相談会 2回実施(焼津市、藤枝市) 食品等開発研究会 新製品(試作品)の開発</p>	
					補足事項	<p>H25.9.1 現在</p>
			進捗率等	<p>H26.3.31 現在</p>	<p>セミナーの実施 3回 技術相談会・マーケティング相談会 3回 食品等開発研究会 新製品(試作品)の開発完了</p>	
	成果目標	プロジェクトの推進				
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	<p>・フーズ・サイエンスセミナーの実施 開催回数3回 参加者数474人</p> <p>・技術相談会 開催回数3回 相談件数32件</p> <p>・マーケティング相談会 開催回数3回 相談件数29件</p> <p>・食品等開発研究会 11月に試作品の内覧会を実施し、また12月に商談会を実施した。3月末までに新製品(試作品)の開発を完了予定。</p>
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化			
		中施策	①研究開発力の強化			
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築		事業評価	<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p> <p>・セミナーは、フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトにおける事業成果を含めて講演を行う予定。また、セミナーだけでなく施設見学会等も実施していく。 ・牧之原市、島田市も平成26年度から参画予定。</p>	
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成				
	基本施策	①健康・環境クラスターの形成推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)			

事業 27	ものづくり基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度			
	事業名	地域結集型研究開発プログラムの推進		予算額	5,000千円		
				決算見込額	5,000千円		
	事業概要	地域産学官の連携のもと、世界市場を視野に入れた新世代茶飲料・素材の開発・事業化を目指します。		取組状況 H25.9.1 現在	<p>独立行政法人科学技術振興機構の委託事業。(公財)静岡県産業振興財団が事務局を務める。静岡県・静岡市・大学・民間企業が連携し、大学等の基礎的研究から生まれた技術を結集し、科学的根拠に裏付けられた、健康によく、味・香りのよい新たな茶飲料の開発を行い、早期事業化を目指す。</p> <p>【研究テーマ】 「香味向上を目指した茶栽培・加工工程への光技術等の活用と実用化への研究」 「茶を原料とした飲料・素材の開発と実用化に関する研究」 「カテキン類の味覚・機能性等の評価と安全性に関する研究」</p> <p>【実施期間】 平成21年1月～平成25年12月</p>		
		補足事項			進捗率等 H25.9.1 現在	研究開発継続実施中	
				H26.3.31 現在	研究開発プログラム終了		
	成果目標	プログラムの推進		事業評価	<p>本プログラムによって以下の研究成果(商品化、試作品)が発表された。 「味や香りの特徴を持つ新銘茶の創生」 白葉茶、高香味発揚茶 「新しい茶系飲料と食品素材の創生」 茶生葉紅茶飲料、テアフラビン素材、苦渋味抑制素材</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化				
		大施策	(3) 地域経済を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	① 研究開発力の強化				
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>平成25年12月をもって、本プログラムは終了。今後は、研究成果をもとに事業化を推進する「フェーズⅢ」を静岡県及び公益財団法人静岡県産業振興財団と連携し進めていく。</p>			
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成					
	基本施策	① 健康・環境クラスターの形成推進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他(特記事項)				

事業 28	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度			
	事業名	駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進		予算額	10,000 千円		
				決算見込額	10,000 千円		
	事業概要	「駿河湾地域新事業推進研究会」が推進する、地域資源を活用した産学官連携による新事業創出に向けた活動に対し支援を実施します。		取組状況 H25.9.1 現在	平成25年度、同プロジェクトが取り組む研究活動計画 ・三保地下水を利用した魚介類陸上養殖事業化に係る研究 (東海大学) ・野草・食用植物の育成と有効成分の抽出の研究 (静岡大学) ・植物からの有効成分抽出研究 (静岡大学)		
		補足事項			H25.9.1 現在	(事業化件数) H25 / 0件	(事業化件数) 66.7 (%)
			H26.3.31 現在	(事業化件数) H24 / 2件 H25 / 1件 計 / 3件	(事業化件数) 100.0 (%)		
	成果目標	事業化件数 3件/3年		事業評価	事業結果 平成25年度、同プロジェクトが取り組む研究活動計画 ・三保地下水を利用した魚介類陸上養殖事業化に係る研究 (東海大学) ・野草・食用植物の育成と有効成分の抽出の研究 (静岡大学) ・植物からの有効成分抽出研究 (静岡大学) 平成25年度事業化件数 1件 (野草から抽出した植物の成長促進剤の販売)		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化				
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	①研究開発力の強化				
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	26年度が終了年度であるため、事業化若しくは事業化への具体的な道筋をつける必要がある。			
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成					
	基本施策	②環境関連産業の振興					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)				

事業 29	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度				
	事業名	アーティストとのコラボレーション 支援推進(ニューウェーブしずおか 創造事業)		予算額	7,864千円			
				決算額	7,589千円			
	事業概要	静岡の特色を活かした家具等の次 代を担う新商品の開発を支援し、新 規流通開拓を模索するため、意欲的 企業による研究会の組織、デザイナー 一等とのコラボレーションによる新 商品開発等に取り組みます。		取 組 状 況 H25.9.1 現在	<p>■商品のリデザインと試作 初年度にデザイン開発した製品をデザイナーと企業で改良点等 の協議を続けブラッシュアップを行いリデザインした。これをも とに試作品の開発を実行した。</p> <p>■販売ツール作成と広報活動 開発品のパンフレットを作成し、HP等で告知。首都圏での展 示会への出展のPR等を行った</p> <p>■展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」を中心に首都圏で見 本市等へ2回出展。また地元百貨店で1回の販売会を実施した。</p> <p>■商品化の模索 各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販 路開拓作業を継続実施した。</p>			
		補足事項			H25.9.1 現在	(開発点数)		(%)
				H26.3.31 現在	(開発点数) H24~H25計 60点	(開発点数) 200	(%)	
	成果目標	開発点数 平成24~25年度 20点 (平成26~27年度 20点)						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材 の育成・支援		事業結果	<p>■商品のリデザインと試作 初年度にデザイン開発した製品をデザイナーと企業で改良点等 の協議を続けブラッシュアップを行いリデザインした。これをも とに試作品の開発を実行した。</p> <p>■販売ツール作成と広報活動 開発品のパンフレットを作成し、HP等で告知。首都圏での展 示会への出展のPR等を行った。</p> <p>■展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」を中心に首都圏で見 本市等へ2回出展。また地元百貨店で1回の販売会を実施した。</p> <p>■商品化の模索 各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販 路開拓作業を継続実施した。</p>		
		大 施 策	(3) 地域産業を支える知的経営資 源の活用強化					
		中 施 策	②産学官・産業間・企業間の交流 と連携の推進					
産業振興 のプラン 位置付け	基本 方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業 評 価 等 (事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項	<p>■デザイナー活用について デザイナーの書いたものはきれいがかっこうよいが、なかなか 売れないとよく言われています。それはなぜかをまず突き止めて ください。 従来、デザイナーとのコラボレーションを行うと、デザイナー 中心のものとなり、作り手側は材料費・加工費だけという事が多 い。そのため、なかなか前に踏み出す事が出来ない。</p>			
	基本 方針	(1) マーケットを重視した事業展 開の推進						
	基本 施 策	④地域・伝統産業の近代化推進						
所属部会	■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地域産業担当		事業担 当 記載事項	<p>■改善点等 ①参加企業の技術をより活用した開発とするため、企業とデザイ ナーとの交渉回数を増加させ開発にあたった。 ②流通化をより高めるため、首都圏での見本市出展に加え、著名 ギャラリー展示会への出展、更に地元百貨店等での販売会等も実 施するなど、団体及び各企業での営業活動など多面的に販路開拓 を行った。</p>				
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 地域産業担当							

事業 30	ものづくり基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成25年度		
	事業名	新産業開発振興機構の活用に関する検討		予算額	5,840千円	
				決算見込額	5,840千円	
	事業概要	<p>これまでの新産業開発振興機構の活動実績を踏まえつつ、今後の市内ものづくり事業者との新たな連携を含めた活用の検討を推進する。</p> <p>同機構は、会員企業の技術や販路等に関する経営資源のハイブリッド化を図り、時代のニーズに応じた「ものづくり」や「ビジネスモデル」の研究に取り組む本市の重要な地域資源の一つである。</p> <p>そのような機構の事業概要は、産産連携及び産学連携による新産業創出に向けた研究開発をはじめ、新産業レポートなどの情報発信、県内学術研究機関(静岡大学、静岡県立大学等)との交流事業、講習会等の研修事業などを幅広く展開している。</p> <p>このように市内の中小企業が多数参加する当機構の連携を模索する中では、これまでにない業界との連携を視野に入れ、本市のものづくり産業における新たな展開の検討を進める必要がある。具体的には、深刻な後継者不足等を抱えながらも、若手クラフトマンの育成などにも尽力する伝統工芸分野とのコラボレーションも当該機構の新規展開事業として、その一つの選択肢に含まれるものとの期待から事業化が図られた経緯がある。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	<p>地域企業の「産産連携」と「産学連携」を推進した。</p> <p>産産連携では、しみず新事業創出研究会を中心に会員相互の情報提供や意見交換を通し、地域の知的資産のハイブリット化を目指して、複数の会員企業が共同し小水力発電機の試作開発を行った。</p> <p>産学連携では、駿河湾地域事業化プロジェクトから生まれたシーズの支援をし、植物環境ストレス耐性向上技術を活用した肥料が製品化された。</p>
				進捗率等	H25.9.1 現在	
					H26.3.31 現在	
	成果目標	新産業開発振興機構の活用の検討		事業評価	<p>■地域産業課 伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携について、静岡商工会議所機構事務局及び静岡特産工業協会との打合せを実施した。結果としては、両者のマッチングに困難な側面はあるものの、今後も継続的な協議を進めていくものとする。</p> <p>■産業政策課 地域企業の産産連携・産学連携による新事業創出を目指す同機構に対し、財政的な支援をすることで、会員企業の新規開発テーマの情報提供として、テーマ探索研究会の開催(1月)、大学等のシーズ紹介を主な内容とした産学官交流会(4月・6月・7月・10月・11月・12月・1月)の開催等、会員企業に対し、新事業創出のきっかけを提供する事業が行われてきた。 今後も同機構の支援を通じて、会員企業を中心とした地域における産産連携・産学連携を推進していきたい。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■地域産業課 次年度においても、静岡商工会議所機構事務局及び静岡特産工業協会との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携を模索する取組を推し進めていきます。</p> <p>■産業政策課 引き続き新しい事業の創出につながる機会の提供、会員企業等への効果的な支援等が行われるよう同機構に求めていく。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 地域産業課 産業経営担当 産業政策課 新産業担当		その他(特記事項)			

事業 31	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6) 研究開発や事業化等に関する支援		平成25年度			
	事業名	地域課題に係る産学共同研究への支援		予算額	指定管理料115,540千円の一部		
				決算見込額	指定管理料115,540千円の一部		
	事業概要	経済環境の変化に伴い生じている高度で複合的な地域課題を解決するため、地域や産業界が大学の知識・人材・分析能力を生かして共同で取り組む調査・研究に対する委託事業を実施します。		取組状況 H25.9.1 現在	【産学交流センター】 地域課題に係る産学共同研究委託事業：委託研究数 6件 ・『グァー豆を応用したメタボリック・生活習慣病対策食材とそのメニューの研究開発』 ・『静岡茶を使用したメラニン抑制効果のある化粧品原料と化粧品の研究開発』 ・『静岡茶と柑橘に成分でアルコール臭を抑えた新規ウェットシートの研究・開発』 ・『クールビズサンダル普及の課題抽出と需要創造のための新たなマーケティング戦略』 ・『次代につなぐ伝統食品「糠漬」量販を可能とする鮮度保持技術』 ・『三保の松原の松葉を有効利用した環境保全への取組み』 (委託期間) 委託締結日(平成25年7月初旬)～平成26年2月28日 (成果発表) 平成26年3月中旬予定		
					補足事項	進捗率等 H25.9.1 現在	(産学共同研究数) H25 / 6件
			H26.3.31 現在	(産学共同研究数) H24 / 5件 H25 / 6件 計 / 11件	(産学共同研究数)	73.3 (%)	
	成果目標	産学共同研究数 15件/3年					
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	【産学交流センター】 地域課題に係る産学共同研究委託事業：委託研究数 6件 ・『グァー豆を応用したメタボリック・生活習慣病対策食材とそのメニューの研究開発』 ・『静岡茶を使用したメラニン抑制効果のある化粧品原料と化粧品の研究開発』 ・『静岡茶と柑橘に成分でアルコール臭を抑えた新規ウェットシートの研究・開発』 ・『クールビズサンダル普及の課題抽出と需要創造のための新たなマーケティング戦略』 ・『次代につなぐ伝統食品「糠漬」量販を可能とする鮮度保持技術』 ・『三保の松原の松葉を有効利用した環境保全への取組み』 (委託期間) 委託締結日(平成25年7月初旬)～平成26年2月28日 (成果発表) 平成26年3月14日	
		大施策	(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進				
		中施策	③創業と新事業展開の推進				
産業振興プラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 案件発掘のために募集期間を十分確保できるよう年度当初から募集を開始できるよう準備を進めていく。		
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・研究開発の支援					
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の推進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他(特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6) 研究開発や事業化等に関する支援		平成25年度		
	事業名	大学等研究成果の技術移転の推進		予算額	500千円	
				決算見込額	500千円	
	事業概要	<p>中小企業と大学との「共同研究」、大学から中小企業への「技術移転」等産学官連携による新産業・新事業の創出に向けた支援を行う技術移転機関に対する助成を行います。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	<p>■助成対象団体：静岡技術移転合同会社 大学等における技術に関する研究成果の民間事業者への移転の促進に関する法律第3条第4項に基づき、文部科学大臣及び経済産業大臣より実施計画の承認を受けた、県内に所在地を有する唯一の団体（承認TLO）。</p> <p>県内大学等（静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡理工科大学、沼津高専、国立遺伝学研究所）との連携により、「産学間における円滑な技術移転の促進」を目的としている。</p> <p>(9月1日時点の取組状況) ・展示会出展数 5件</p>
					補足事項	進捗率等
	H26.3.31 現在					
	成果目標	技術移転機関への助成		<p>助成対象団体：静岡技術移転合同会社 大学等における技術に関する研究成果の民間事業者への移転の促進に関する法律第3条第4項に基づき、文部科学大臣及び経済産業大臣より実施計画の承認を受けた、県内に所在地を有する唯一の団体（承認TLO）。</p> <p>県内大学等（静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡理工科大学、沼津高専、国立遺伝学研究所）との連携により、「産学間における円滑な技術移転の促進」を目的としている。</p> <p>・展示会出展 9件 4月22日「A-stepフイージビリテスタディ」 場所：静岡大学浜松キャンパス 4月24～26日「CPH Japan 2013」 場所：東京ビッグサイト 5月8～10日「BIO tech 2013アカデミックフォーラム」 場所：東京ビッグサイト 6月14日「A-step本格研究開発」 場所：静岡大学浜松キャンパス 7月23～24日「第7回ビジネスマッチングフェアinHamamatsu2013」 場所：アクティ浜松 7月26日「共同研究希望テーマ説明会」 場所：アクティ浜松 9月25～27日「センサエキスポジャパン2013」 場所：東京ビッグサイト 10月9～11日「BioJapan2013」 場所：パシフィコ浜松 10月17～19日「諏訪圏工業メッセ2013」 場所：諏訪湖イベントホール</p> <p>・マッチング会開催5回 11月15日 三島、11月28日 富士、12月6日 静岡 ・技術移転2件・技術相談対応7件、仲介12件 (件数は3月31日現在見込)</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業評価	事業結果
		大施策	(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進			
		中施策	③創業と新事業展開の推進			
産業振興プラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・研究開発の支援				
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)			

事業 33	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6) 研究開発や事業化等に関する支援		平成25年度		
	事業名	産業構造の将来予測等に関する調査研究の検討		予算額	1,200千円	
				決算見込額	1,200千円	
	事業概要	<p>今後、ものづくり産業に関する施策形成等に関して、産業の空洞化等を含めた将来予測を試み、基礎データの蓄積と活用に関して検討する。</p> <p>歴史的な円高等に見るグローバルな経済動向により、我が国の製造業を中心とするものづくり産業では各地で空洞化が進行するほか、電力不足が懸念されるなど憂慮をいとわない経済環境にある。静岡市のものづくり産業も同様であり、生産拠点の海外移転などを試みる中小製造事業者が多数見られ、今後の静岡市におけるものづくり産業の将来に不安を否めない状況にある。</p> <p>このような現状を踏まえ、静岡市のものづくり産業の振興を図る上では、今後のものづくり産業の動向及び構造等に関する将来予測を検討し、一定のスケールモデルを得て、それを見定める中で必要な施策展開などを考えていく必要性から事業化を図った経緯がある。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	<p>■将来予測等に関する基礎資料の集積に向けて 今後、基本計画の見直しや次期基本計画の策定に向けて、必要不可欠な本市のものづくり産業の将来予測等に関する基礎資料を整えるため、次のおり、県内の経済及び経営に関する大学の教員に協力を依頼して、予測モデル等の検討を進めているところである。</p> <p>①事業期間 平成26年4月～平成27年3月 ②対象大学 静岡大学、静岡県立大学、静岡産業大学等 ③参加人数 教授または准教授クラスの教員等 ④事業経費 報償費等 ⑤その他 調査研究会等との連携協調など</p>
				進捗率	H25.9.1 現在	(%)
					H26.3.31 現在	(%)
	成果目標	3年間検討し、調査研究結果を報告書として作成		事業結果	<p>今年度の取組みとしては、次に掲げる2点から予測モデル等を検討した。結果の算出には、今後の検証を含め、時間を要するところであるが、来年度においても、継続的に検討を進めていきたい。</p> <p>■工業統計等に基づくトレンド 一つの試みとして、過去10年程度の工業統計結果をもとに、特殊な増減要素を調整し、製造業に関する事業所数、従業者数、製造品出荷額等のトレンドを算出中である。</p> <p>■確率論からの予測 今後の有り様を予測する中では、確率論は古くから多用されている手法である。前項で取り上げた工業統計結果をベースとして、確率に基づく試算から将来動向を見通する取組みを検討中である。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>〔事務担当記載項目〕</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>
		大施策				
		中施策				
産業振興のプラン位置付け	基本方向		<p>〔事業担当記載事項〕</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■他都市の状況調査 工業統計結果や確率論からの試算を進める一方で、参考資料として他都市における同様の取組み状況を調査してほしい。ここでは、経済圏が広域にわたる国等の取組みではなく、地域経済を基盤とする地方自治体の取組事例を確認したい。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
所属部会	<p>■調査研究会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業経営担当</p>		<p>■関係機関等との連携 少しでも精度を向上させるためには、大学等との連携が必要であるため、今後も昨年度の連携基盤を基本としながら、知見収集等に努めていきたい。</p>			
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当</p>					

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6) 研究開発や事業化等に関する支援		平成25年度		
	事業名	地域間競争に臨む戦略的方策等の検討	予算額	0千円		
			決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>地域間競争の激化が想定される昨今において、他地域に先んじた本市ものづくり産業の生き残り戦略に関し、本市の強みを活かして検討する。</p> <p>全国各地の製造業を中心とするものづくり産業（産業がクラスター化された地域等を含む）にあつては、今後ますます地域間あるいは都市間競争の激化が想定される。</p> <p>そのような状況を踏まえて、本市のものづくり産業の振興を図る上では、事業33の産業構造の将来予測等に関する調査研究検討事業で得られたスケールモデル等の知見を活かすとともに、本市の強みを考慮しながら、本市ならではの生き残り戦略の検討が必要なことから事業化が図られた経緯がある。</p> <p>その他、研究開発・人材育成・人的ネットワークの形成などに関する理工系大学等の誘致やものづくり先進都市等の取り組みにいても、地域間競争に臨む戦略的方策を検討する上での重要な要素と考えられる。</p>	取組状況	H25.9.1 現在	<p>■他事業との連携の必要性</p> <p>静岡市で検討される地域間競争の戦略的方策等については、地域の素材、資源、強みなどを再評価するとともに、今後の将来動向を見据えた対応が必要となる。そのため、同部会担当の「理工系大学の誘致など」に関する事業をはじめ、「産業構造の将来予測等」に関する事業や「先進都市等の調査研究」事業の成果を踏まえ、それぞれの連携を図る中で進めていく必要がある。</p> <p>さらに、必要に応じて、今後育成を図り、成長を期待する分野の事業を担当する他部会の取組みを視野に入れた連携も考慮する。</p>	
			進捗率	H25.9.1 現在		
				H26.3.31 現在		
	34	成果目標	3年間検討し、調査研究結果を報告書として作成		事業結果	<p>■他事業との連携</p> <p>本事業は、単独で進められるものではないため、事業33の産業構造の将来予測等に関する調査研究検討事業や事業35のものづくり先進都市等に関する調査研究事業などの関連を踏まえるとともに、それら知見等の蓄積から本市の戦略的方策を検討するものである。このことから、今年度は関連事業が徐々にではあるが進捗し始めているため、今後、それらの結果を踏まえて、取りまとめていきたい。</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興のプラン位置付け	基本方向		事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>	<p>■次期ものづくり基本計画策定案との整合</p> <p>本事業は、静岡市が他地域より先んずる戦略的方策を検討するものであるため、関連事業の進捗状況にも注意を払い、静岡市の優れた素材を見出すことが重要である。</p> <p>この事業は、次期ものづくり基本計画の策定とも関連深いため、策定作業に活かされていくものと思われる。従って、今後の検討にあつては、特質すべき素材の抽出と策定案の検討に整合性等に配慮しながら検討を進めてほしい。</p>	
	基本方針					
	基本施策					
所属部会	<p>■調査研究部会 部会員 ものづくり審議会委員3人</p> <p>■事務担当 産業経営担当</p>		<p>(事業担当) 記載事項</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■他事業との連携</p> <p>他地域にない本市ならではの戦略的方策の基盤に関して、他事業との連携強化を図りつつ、地域における貴重な素材・資源（ヒト・モノ等）の抽出に努めるものとする。さらに、素材や資源を見出すとともに、それらが有機的に生かされ、他地域に見られない相乗的効果の創出に向けた仕組みに関しても、並行的に検討を加えるものとする。</p>		
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当</p>					

事業 35	ものづくり基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6)研究開発や事業化等に関する支援		平成25年度				
	事業名	ものづくり先進都市等に関する調査研究		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	ものづくり産業の将来展望を模索する上でも、先進都市の動向などを調査研究し、今後の産業別計画及び次期基本計画の策定に向けた基礎資料の整備とものづくり事業者等への情報提供に資することを検討する。 具体的には、計画期間の各年度で1都市を対象として、必要に応じて審議会委員の同行のもと実施される。 平成24年度では、政令指定都市の北九州市を対象に、官営製鉄所からの公害発生とその克服、そして、環境技術を基盤とした新たな動向に加え、地域に残る伝統工芸等に関する施策を含めて調査を実施した。	取組状況	H25.9.1 現在	<p>■ものづくり先進都市等の視察調査 今年度の調査地域は、地場産業を対象とする中、次のとおり、福井県鯖江市の眼鏡枠産業の視察調査を実施した。</p> <p>①調査日 7月25～26日(木金) ②調査先 福井県鯖江市 眼鏡枠産業 福井県眼鏡協会、眼鏡枠等の中小製造事業者 ③実施者 地域産業課 佐藤、高柳 静岡大学人文社会科学部 高倉准教授 静岡産業大学経営学部 牧野准教授 ④概要 ・鯖江市の地場産業である眼鏡枠産業の動向 ・各眼鏡枠産業事業者の事業運営 ・眼鏡枠の販売促進策(首都圏戦略を含む)等</p>			
				進捗率	H25.9.1 現在	(調査都市数) H25 / 1都市(地域)	(調査都市数)	33.3 (%)
					H26.3.31 現在	(調査都市数) H24 / 1都市(地域) H25 / 1都市(地域) 計 / 2都市(地域)	(調査都市数)	66.6 (%)
	成果目標	3都市/3年 (調査研究報告書の作成)		事業結果	<p>■福井県鯖江市の調査研究実施概要 鯖江市の眼鏡枠産業は、現在、OEM生産から脱却を図るための高付加価値製品の企画開発と、大消費地の首都圏などにおける販売促進に集約される。加えて、詳細は分らなかったものの、眼鏡枠産業の生産技術等をもとに、新たな地場産業の形成を模索している。こうした鯖江市の取組みからは、本市の地場産業においても、同様の視点に立脚し、今後の地場産業を見通す必要性を実感した。具体的には、個々の事業所における経営努力はあるものの、地場製品の販売拠点などによる市場調査をはじめ、そこで得られた結果を製品開発に役立たせる仕組みが挙げられる。その他にも、重要なこととして、開発した製品の販売促進に相応しいマーケットとの結び付きなどについても、主たる取組みとして捉える必要がある。こうした取り組みは、短期間に成果を上げられるものではないが、市として支援策の検討を進め、成果の創出に向けて、継続的に取組む必要がある。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項</p>	<p>■調査研究結果に基づく検討 部会としては、鯖江市の調査研究結果をもとに、本市の伝統工芸を含む地場産業に関して、商品開発や販路開拓だけでなく、人材育成にも議論の幅を広げて進展を図りたい。</p>	
		大施策					<p>(事業担当) 記載事項</p>	<p>■次年度における調査研究対象都市及び地域 対象都市及び地域に関しては、地域資源の利活用を図る中で、産業の先鋭化に取り組むとともに、結果として、地域経済の牽引役として邁進する成功事例などがあれば、それらを調査研究対象としていきたい。</p>
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向							
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	<p>■調査研究部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業経営担当</p>							
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当</p>			<p>改善点・ 目標の未達成理由等</p>				

事業 36	ものづくり基本計画	(方針4)ものづくり産業を育てる環境整備 (施策7)企業の誘致及び市内留置の促進		平成25年度		
	事業名	企業立地の推進		予算額	420,000千円	
				決算見込額	246,274千円	
	事業概要	助成制度の強化、遊休・未利用地の再編、留置活動の総合的な取組みにより企業立地を推進します。		取組状況 H25.9.1 現在	市内企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、企業立地を促す情報提供や助成制度の提供により、企業立地の促進に努めている。 市内の不動産情報を収集・提供する制度を設け、用地情報を市HPに掲載し、市内に立地を希望する企業等に対し、情報を提供しマッチングを進めている。 工場立地や事務所賃借、富士山静岡空港関連事業のほか、企業立地促進法に基づく「事業高度化計画」について、県知事の承認を得た中小企業の機械設備設置事業に対する助成制度の活用を促進している。 (9月1日時点の取組状況) ・新規企業立地件数 2件 ・市内企業訪問 222件 ・市外企業訪問 40件 ・企業立地相談件数 100件	
					補足事項	進捗率等
	H26.3.31 現在	(新規企業立地件数) H25 / 17件	120 (%)			
	成果目標	新規企業立地件数 14件/年 (企業立地戦略指針) 平成20~24年度 70件/5年		■新規企業立地件数 17件		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果 市内企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、企業立地を促す情報提供や助成制度の提供により、企業立地の促進に努めている。 市内の不動産情報を収集・提供する制度を設け、用地情報を市HPに掲載し、市内に立地を希望する企業等に対し、情報を提供しマッチングを進めている。 工場立地や事務所賃借、富士山静岡空港関連事業のほか、企業立地促進法に基づく「事業高度化計画」について、県知事の承認を得た中小企業の機械設備設置事業に対する助成制度の活用を促進している。 (参考事項) ・市内企業訪問 514件(平成26年3月末) ・市外企業等訪問 84件(") ・企業立地相談件数 210件(")	
		大施策	(1)地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進			
		中施策	①企業の誘致と留置の促進			
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築		事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
	基本方針	(2)物流クラスターの強化・・・※1 (3)企業等の誘致・留置・・・※2				
	基本施策	※1 ③低・未利用地の活用促進 ※2 ①県外企業等の誘致の推進 ②市内企業等の留置の推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企業立地担当 参事 杉山 禎之 (内線)82-2406		その他(特記事項)			

事業 37	ものづくり基本計画	(方針4)ものづくり産業を育てる環境整備 (施策8)情報と窓口の一元化に向けた事業者支援体制の整備		平成25年度		
	事業名	国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援		予算額	産学交流センター指定管理料115,540千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部	
				決算見込額	産学交流センター指定管理料115,540千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理料85,997千円の一部	
	事業概要	国・県・民間の産業支援機関との連携・協力を得て、これら各機関の様々な情報を一元化し、ホームページや紙媒体の配置により利用しやすい方法で支援情報を提供します。		取組状況	H25.9.1 現在	(産学交流センター) 産学交流センターのHPのトップページでは、「各種公募・補助金情報」、イベント情報、「講座・セミナー覧」の各コーナーにおいて国・県・他の産業支援機関の各種情報を提供しており、ビジネスに役立つような情報を一元的に提供している。 (清水産業・情報プラザ) リンク集より、国・県等の産業支援機関のトップページにリンクできるようになっている。金融機関等、多くの組織をリンク先として案内している。
					補足事項	進捗率等
		H26.3.31 現在				
	成果目標	市産業支援施設ホームページ等における情報提供の推進		事業 評価	事業結果	(産学交流センター) 産学交流センターのHPのトップページでは、「各種公募・補助金情報」、イベント情報、「講座・セミナー覧」の各コーナーにおいて国・県・他の産業支援機関の各種情報を提供しており、ビジネスに役立つような情報を一元的に提供している。 この他、月2回メルマガ配信、Facebookページやブログによる情報発信、季刊誌FACE4回発刊、B-nest地下通路・7階ラウンジ各ショーケースにて産学交流センター各種事業の情報提供を実施。 (清水産業・情報プラザ) リンク集より、国・県等の産業支援機関のトップページにリンクできるようになっている。金融機関等、多くの組織をリンク先として案内している。 また、地域情報誌等に施設の広告を掲載し、情報提供を実施。
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	(産学交流センター) 地下通路ショーケースに大型タペストリー型の掲示物を設置予定で、通行者の目を引く展示を心掛け、利用につなげていく。 (清水産業・情報プラザ) 施設利用率向上のため、力を入れる広報先を絞るなど方法の見直しをする。		
	基本方針	(2)新事業展開や製品・技術・研究開発の支援				
	基本施策	②専門的な産業支援機関との連携による支援				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他(特記事項)			

事業 38	ものづくり 基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6)研究開発や事業化等に関する支援		平成25年度		
	事業名	中小企業の事業継続計画策定に 関する支援		予算額	中小企業支援センター運営補助金33,600千円の一部	
				決算見込額	中小企業支援センター運営補助金33,600千円の一部	
	事業概要	<p>事業継続計画（BCP）の策定に向けて中小企業を対象とした情報提供や講座等による各種支援を実施します。</p> <p>優良製造事業所へのヒアリングに際して、東日本大震災後におけるBCPの策定状況について尋ねたところ、策定済と回答した事業所は少なく、ほとんどの事業所が策定中、検討中、未着手、予定なしとの反応であった。</p> <p>しかしながら、いずれの事業所もBCPには関心が高く、できれば策定に結び付けていきたいとの意向も一方で確認された。総じて、BCP策定への対応に関しては、優良事業所でも対応に苦慮する状況が把握されたことから、それ以外の中小企業においても、同様に重要な経営課題の一つと推測されるため、基本計画の事業として登載した経緯がある。</p>		取組状況	H25.9.1 現在	<p>(中小企業支援センター) BCP策定に関する個々の支援ニーズに対しては、中小企業支援センター等の窓口相談や事業所への専門家派遣により対応している。(平成25年9月1日現在で利用実績なし。)</p> <p>(清水産業・情報プラザ) BCP策定に関する専門家派遣事業を開始し、1件の実績があった。</p> <p>(その他) 静岡県BCP研究会定例会(計3回)に出席した。また、BCPに関するセミナー2件に参加した。</p>
				進捗率等	H25.9.1 現在	
					H26.3.31 現在	
	成果目標	情報提供、講座等の実施		事業 評価	<p>■地域産業課 BCP策定の促進に関して、セミナー以外の情報提供等について検討を行った。具体的な施策等には至らなかったものの、BCP策定の推奨に関して、専門家等による厳格な審査のもと、当該事業所を認証することに加え、地域金融機関に審査基準や認証事業所の周知を図ることによって、地元中小企業の支援に結び付けていければとの結論に至った。詳細は、今後の検討による。</p> <p>■産業政策課 (中小企業支援センター) BCPに関する専門家派遣を2件実施した。</p> <p>(清水産業・情報プラザ) BCP策定に関する専門家派遣を1件実施した。</p> <p>(その他) 静岡県BCP研究会定例会(計3回)に出席した。また、BCPに関するセミナー2件に参加した。</p>	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興 プランの 位置付け	基本方向		<p>次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等</p> <p>■地域産業課 事業結果をもとに、次年度では、BCP策定の推奨に向けて、認証制度等の詳細を検討していきたい。</p> <p>■産業政策課 清水産業・情報プラザの製造現場改善支援事業において、BCP策定を支援コースに追加したが、1件の実績に留まったためメニューが追加されたことを周知していく。</p>			
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当 産業政策課 新産業担当</p>		その他 (特記事項)			

事業 39	方針等 区分	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策10)ものづくり産業と教育機関の連携強化		平成25年度		
	事業名	次世代育成プロジェクト事業	予算額	4,025千円		
			決算額	3,270千円		
	事業概要	登録された市内のさまざまな専門家等(スペシャリスト)の学校への講師招聘や、市立全小中学校における自立を含む職業体験学習推進事業等を実施します。	取組 状況	H25.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■「スペシャリスト派遣事業」(平成24年度で終了) ■「民間教育力活用事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・「スペシャリスト派遣事業」の人材リストを民間教育力活用事業に移行し、再整備する。 ・各校の教育計画に沿って、子どもたちの体験的な学習や問題解決的な学習を充実させるため、外部講師(民間教育力)を導入する。 ■「自立を育む職場体験学習推進事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校において、連続3日間以上の職場体験学習を実施する。 ・職場体験学習の受入事業所数の拡大を図るとともに、受入事業所リストの公示時期や、各校から提出される希望事業所の取りまとめ時期を改善する。 	
					補足 事項	進捗 率
	H26.3.31 現在	②民間講師活用件数 445件 (延べ2,200人) ②職場体験学習の実施 43校 ③掲載事業所数 199事業所 (新規登録55事業所)	(民間講師活用件数) 111.3 (職場体験学習の実施) 100.0(%) (掲載事業所数) 132.7			
	成果目標	①スペシャリスト派遣事業 60件以上 ②民間講師活用人数 400件以上 (2,100人以上) ③連続3日間以上の職場体験学習の全校実施 ④職場体験学習受入事業所リスト掲載事業所数 150事業所(新規登録3件以上)		事業 評価	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■「民間教育力活用事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・「スペシャリスト派遣事業」の人材リストを民間教育力活用事業へと移行し、再整備した。 ・講師活用件数は、445件。各学校から要請に対し、延べ2,200人の講師が様々な教育活動に参加した。 ・キャリア教育担当者会を通し、「民・学・官・地(地域)」の連携による効果的な人材活用や体験的な学習の在り方について、各校の担当者の理解を図った。 ■「自立をはぐくむ職場体験学習推進事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・全中学校で連続3日間以上の職場体験学習を実施した。 ・受入事業所について新たに55事業所を登録したほか、希望事業所の取りまとめ時期を改善する等、各校の活動が円滑に行われるように支援した。
	総合計画 の 位置付け (分野別) Ⅱ文化 ・学習	政策方針	3 次代を担う人材の育成と環境の整備			
		大 施 策	(1)子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育の推進			
		中 施 策	⑦地域性を活かした特色ある教育の推進			
産業振興 プランの 位置付け	基本 方 向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成				
	基本 方 針	(4)次代を担う人づくり				
	基本 施 策	①起業家精神の醸成				
担当課等	教育委員会事務局 教育部 学校教育課 企画管理担当		その他 (特記事項)			

事業 40	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策10)ものづくり産業と教育機関の連携強化		平成25年度			
	事業名	こどもクリエイティブタウンの整備		予算額	106,332千円		
				決算見込額	103,027千円		
	事業概要	仕事やものづくり体験ができる施設を整備し、地域企業や商店街、学校、市民活動団体等と一体となり、子どもたちの創造力の育成を目指します。		取組状況	H25.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■模擬店舗等における仕事やものづくり体験の事業 こどもバザールの企画運営(13店舗) ちびっこファクトリーの企画運営(75回)開催 ■創造力の育成を目標とする講座、研修等の実施 こども会議・店長研修等の実施(12回)開催 こどもファクトリーの企画運営・講座等(こどもファクトリー75回)(講座107回)開催 ものづくりプロジェクトの企画運営(映像プロジェクト) クリエイティブクラブの企画運営(ミニロボ・メディアサポート・新聞クラブ) ■創造力の育成を目的とする展示及び情報発信の事業 企画展の実施(11月開催予定) ライブラリーの運営(136冊)しごとツリーの運営(5回更新) ■学校等の団体利用に関する事業(8団体186人) ■記念イベントの企画運営(1月に開催予定) ■企業・商店街・NPO・大学等のニーズ把握や連携(10月、1月開催予定) 	
				進捗率等	H25.9.1 現在		
					H26.3.31 現在	平成25年1月開館	
	成果目標	平成25年1月開館 (指定管理者による運営)		事業評価	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■模擬店舗等における仕事やものづくり体験の事業 こどもバザールの企画運営(12店舗) ちびっこファクトリーの企画運営(151回)開催 ■創造力の育成を目標とする講座、研修等の実施 こども会議・店長研修等の実施(31回)開催 こどもファクトリーの企画運営・講座等(こどもファクトリー151回)(講座223回)開催 ものづくりプロジェクトの企画運営(映像プロジェクト) クリエイティブクラブの企画運営(ミニロボ・メディアサポート・新聞クラブ) ■創造力の育成を目的とする展示及び情報発信の事業 企画展の実施(しずおかを支えるしごと展:11月開催) ライブラリーの運営(236冊)しごとツリーの運営(13回更新) ■学校等の団体利用に関する事業(43団体1,596人) ■記念イベントの企画運営(みんなとまあるの1年:1月開催) ■企業・商店街・NPO・大学等のニーズ把握や連携(ミニミニしずおか:10月、はじめての商店街:1月開催) 	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援				
		大施策	(1)地域経済を何う多様な人材の活用と育成				
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の増加を重点課題と位置づける。 ・実質的な初年度ということもあり、実施すべき事業をすべて立ち上げることが中心となり、利用者数を増やすという部分は今後の課題である。 			
	基本方針	(4)次代を担う人づくり					
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企画担当		その他(特記事項)				

事業 41	方針等 区分	(方針 5) ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 10) ものづくり産業と教育機関の連携強化		平成25年度			
	事業名	高校生のインターンシップ事業		予算額	994 千円		
				決算額	546 千円		
	事業概要	<p>学生が在学中に職業体験を行うインターンシップ制度の普及・啓発に取り組みます。</p>		取 組 状 況	H25.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■対 象 市内高校の2年生 ■ジュニアインターンシップの既実施数 ①実施高校数 3校 ②実施生徒数 31人 ■ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓数 新規受入可能事業所数 8事業所 ■今後の予定 10～11月、1～2月にかけて3校実施予定。 ただし、実施人数未定。 ■予算執行予定額 ジュニアインターンシップ推進業務委託料 546,000円 	
		補 足 事 項	<p>高校生の職業意識を高めるため、ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓を行うとともに、実施期間や職種を希望校(生徒)が選択できるよう充実した内容にしていきます。</p>				<p>H25.9.1 現在</p>
				<p>H26.3.31 現在</p>	<p>(実施生徒数) H24 / 86人 H25 / 98人 計 / 184人</p>	<p>(実施生徒数) 204.4 (%)</p>	
	成果目標	参加者 90人/3年		事 業 評 価	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■ジュニアインターンシップ実施数 ①実施高校数 6校 ②実施生徒数 98人 ■ジュニアインターンシップ受入事業所 87事業所 ■ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓数 60事業所 ■ジュニアインターンシップ実施の可否確認 市内高校全校 	
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策 方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援				
		大 施 策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援				
		中 施 策	①企業と人材のマッチング				
産業振興 プランの 位置付け	基本 方 向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成					
	基本 方 針	(4) 次代を担う人づくり					
	基本 施 策	②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策担当		そ の 他 (特記事項)		<p>平成25度の参加生徒数は98名で、目標を達成できた。 また、前年度同様、インターンシップ生と受け入れた企業の双方にアンケートを実施し、自己評価と他者評価を見比べる手法を取り入れ、それらをインターンシップ生にフィードバックすることで、高校生の就業意識向上に役立った。</p> <p>未実施の市内高校に対して来年度の実施予定調査を行うとともに、ジュニアインターンシップ説明会を実施するなど、積極的な利用促進を図った。次年度は、今年度の手法を活かし、より多くの高校生の参加を促したい。</p>		

事業 4.2	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度		
	事業名	体験型観光プログラムの開発と誘客の推進	予算額	4,850千円		
			決算見込額	4,850千円		
	事業概要	地域産業を生かし、茶摘み、森林産業、漁業、伝統工芸づくりなど体験観光プログラムを開発するとともに、旅行代理店を通じて海外や首都圏等にセールスし、教育旅行や観光客の増加を図ります。	取組状況	H25.9.1 現在	<p>■静岡型体験観光推進事業補助金による支援 静岡市内における体験教育旅行を受け入れている任意団体「しずおか体験教育旅行」の活動に対して助成を行う。 (平成25年度予算額 4,550千円) 「しずおか体験教育旅行」は、実際に担当の先生方に、本市ならではの体験プログラムを体験していただくモニターツアーや体験型観光ツアーの実施、県内外における誘致活動を行ったほか、教育旅行の受付窓口として、各種体験プログラムの取りまとめなど、学校や旅行エージェントとの調整等を行っている。</p> <p>■誘致活動の実施 市、しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会の共同で、国内外へ教育旅行の誘致活動を実施している。 (平成25年度予算額 300千円) しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会等と共同で、首都圏の小中学校への訪問・誘致活動や台湾での現地商談会へ参加し、本市の体験プログラムのPRを実施する。</p>	
					補足事項	進捗率
	H26.3.31 現在	①訪日教育旅行誘致件数 4件 (中国1件、台湾3件) ②体験プログラム実施数 3,615件/H22~H25	(訪日教育旅行誘致件数) 50.0 (体験プログラム実施数) 94.4 (H22~25計)	(%)		
	成果目標	首都圏や海外からの教育旅行の誘致推進 ・訪日教育旅行誘致件数 8件/年 体験プログラム実施数 ・3,830件/H22~H26計		事業評価	【事業結果】	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化		【市】 ①しずおか体験教育旅行に対して補助金を支出した。 ②しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会と共同で誘致宣伝活動を実施した。	
		大施策	(1) 戦力的な観光振興による国際競争力のある観光地		【しずおか体験教育旅行】 国内外からの教育旅行誘致のため、下記の宣伝・誘致活動や体験プログラムの充実に向けた取り組み等を行った。 ・来静を予定・検討している教育関係者による実地調査への同行 4月26~27日(八王子市内小学校、教育委員会から34名参加) ・首都圏等の学校の先生や教育関係者、旅行会社を対象としたモニターツアー 7月29~30日(海洋活動体験、久能山東照宮、登呂遺跡等) 11月30日~12月1日(井川ダム、廃線ウォーク、民宿宿泊) ・首都圏等への学校訪問・誘致活動 11月19~21日 長野、岐阜県内の小中学校訪問 11月27~29日 愛知県内の小中学校訪問 12月3~5日 八王子市・横浜市内の小中学校等訪問 ・台湾現地商談会への参加及び現地旅行会社訪問 9月23~25日 台北・台南・高雄の3都市で実施 ・台湾教育旅行関係者招聘事業における商談会 11月8日 台湾教育旅行関係者約60名 2月21日 台湾教育旅行関係者約60名	
		中施策	⑤様々な主体による静岡ブランドの構築と国内外への発信			
産業振興プランの位置付け	基本方向	1 まちを「楽しむ」産業の振興	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等			
	基本方針	(1) 地域資源の観光活用		国内の教育旅行について、中京圏の小中学校から静岡体験教育旅行への問い合わせが多くなっている状況にある。東海環状自動車道や新東名高速道路の延伸など、本市への交通アクセスが改善される地域でもあり、来静意欲が増すと考えられることから、平成26年度も中京圏に対し誘致活動を実施していく。また、首都圏等の学校に対しては継続して誘致活動を行っていく。海外の教育旅行について、台湾への継続的な誘致活動を行うとともに体験プログラムや宿泊方法、学校交流内容などの受入体制を整備していく。		
	基本施策	①体験型観光の振興				
担当課等	経済局商工部 観光・シティプロモーション課 観光振興担当		その他(特記事項)	「体験型観光プログラムの開発」については事業4.3での取り組みと密接な関わりがある。		

事業 43	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度			
	事業名	産業観光等のニューツーリズムの推進		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	お茶や伝統工芸などの豊富な産業資源を活用し、産業・体験型観光を活性化し、他地域との差別化を行い観光交流客の増加を図ります。		取組状況 H25.9.1 現在	■産業観光の推進 「感動」「体験」などの観光トレンドを追い風にして、地域の強みである産業資源を活用した観光メニューの開発と観光客受入の準備を推進する。		
		補足事項			進捗率	H25.9.1 現在	(%)
			H26.3.31 現在	(%)			
	成果目標	関係団体等との連携強化による体験プログラムの開発及び充実		事業評価	<p>【静岡県中部地区観光協議会】</p> <p>静岡県中部地区観光協議会において、推進体制を産業と食ツーリズム、スポーツツーリズム、教育交流を検討する3ワーキンググループ体制とし、産業観光をはじめ、グルメやお茶、スポーツやサイクリングなど様々なテーマ別観光メニューの開発を検討した。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化				
		大施策	(1) 戦力的な観光振興による国際競争力のある観光地				
		中施策	⑤様々な主体による静岡ブランドの構築と国内外への発信				
産業振興プランの位置付け	基本方向	1 まちを「楽しむ」産業の振興	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>徳川家康公顕彰400年記念事業のまち歩き事業において、お茶や伝統工芸の産業をめぐるツアーや観光コースの造成などに取り組む。また、静岡県中部地区観光協議会において、3つのテーマ別観光メニューの開発の際に、中部地域の徳力ある産業を見学するコースや商品の造成に取り組む。</p>			
	基本方針	(1) 地域資源の観光活用					
	基本施策	①体験型観光の振興					
担当課等	経済局商工部 観光・シティプロモーション課 観光振興担当		その他(特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度				
	事業名	経済セミナー等の開催		予算額	指定管理料 50,176千円の一部			
				決算見込額	指定管理料 50,176千円の一部			
	事業概要	<p>クリエイター支援センター等の本市の産業支援施設において、国内外の一流の産業人等によるセミナー、ワークショップ等を開催します。</p>		<p>取組状況</p> <p>H25.9.1 現在</p>	<p>(静岡市クリエイター支援センター)</p> <p>【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAGDA新人賞展ギャラリートーク ・子どもアニメワークショップ(夏季) <p>【展覧会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のCMフェスティバル ・しりあがり寿の「まだまだやるら。」 ①しりあがり寿 歴史資料館(もう少し置かせて) ②「しりあがり寿 図書館」 <p>(今後の予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NCC Shizuoka(継続開催中) ・NCC展覧会 ・DOTMOV ・子どもアニメワークショップ(冬季) 			
					補足事項	<p>H25.9.1 現在</p>		
			進捗率等	<p>H26.3.31 現在</p>	<p>(セミナー等開催数)</p> <p>H24 / 5回</p> <p>H25 / 4回</p> <p>計 / 9回</p>	<p>(セミナー等開催数) 100.0 (%)</p>		
	成果目標	セミナー等開催数 9回/3年						
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価	<p>事業結果</p> <p>(静岡市クリエイター支援センター)</p> <p>【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAGDA新人賞展ギャラリートーク ・子どもアニメワークショップ(夏季) ・家庭遺産トークイベント <p>【展覧会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のCMフェスティバル ・しりあがり寿の「まだまだやるら。」 ①しりあがり寿 歴史資料館(もう少し置かせて) ②「しりあがり寿 図書館」 ・NCC Shizuoka ・NCC展覧会 ・DOTMOV FESTIVAL2013 ・子どもアニメワークショップ(冬季) 		
		大施策						
		中施策						
産業振興プラン位置付け	基本方向			<p>次年度に向けた改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の未達成理由等 				
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	<p>経済局商工部</p> <p>産業政策課 新産業担当</p>		その他(特記事項)	ICNギャラリーでCMフェスティバルを開催				

事業 45	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度		
	事業名	首都圏におけるプロモーションの強化 (特産品東京展示会)		予算額	4,549千円	
				決算額	4,543千円	
	事業概要	首都圏において、本市の特産品展示販売及び実演等を実施し、本市の地場産業のPRを行います。		取組状況 H25.9.1 現在	■10月16日～18日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 東京展示会」開催し、工芸品、お茶などの加工食品、水産加工品等の販売を予定している。今年は例年出展している、家具、駿河漆器、駿河指物等の工芸品だけでなく、『ホビーのまち静岡』のPRを推進するため、プラモデルの展示も企画している。その他、静岡市ブランド認証「しずおか葵プレミアム」に認証された商品の展示と販売も予定している。	
					補足事項	進捗率
	H26.3.31 現在	(実施回数) H24 / 1回 H25 / 1回 計 / 2回	(実施回数) 33.3	(%)		
	成果目標	6回/3年 地場産品のPR及び静岡市ブランドの創出・認知度の強化		事業結果	■10月16日～18日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 東京展示会」開催し、工芸品、お茶などの加工食品、水産加工品等の販売を行った。今年度は静岡市が鏡台家具の主要産地であったことを広くPRしていくために「復刻鏡台展」を開催しお客様から好評を得た。その他、静岡市ブランド認証「しずおか葵プレミアム」に認証された商品の展示と販売も実施した。 期間中の来場者数 約12,000人 期間中の売上額 約4,588千円	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	〔事務担当〕 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項
		大施策				
		中施策				
産業振興のプラン位置付け	基本方針	2 生活の質を高める産業の振興	〔事業担当〕 記載事項	改善点・ 目標の未達成理由等		
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進				
	基本施策	③販路開拓支援				
所属部会	■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当		改善点・ 目標の未達成理由等	展示会初日が50年に一度の大型台風と重なり、例年と比較し、来場者の減少が見られたが、その後持ち直し、前年比10%の売り上げ減少に留まった。 会場について、当会場での開催が長く続いているため、別の会場を模索しているが、会場面積や出展経費の関係で、別会場の開催が困難である。また、長年実施してきたことで、地元地区の顧客を多数獲得できていることもあり、会場変更には十分協議が必要となる。		
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業担当					

事業 46	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度		
	事業名	首都圏におけるプロモーションの強化 (ホビーのまち)		予算額	0千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	「ホビーのまち静岡」を首都圏等 に向け発信することにより、静岡市 のブランド力を高め、更なる購買層 の拡大と業界振興につなげます。		取組 状況	H25.9.1 現在	
		補足事項		進捗 率	H25.9.1 現在	
				H26.3.31 現在	(実施回数) H24 / 1回 H25 / 1回 計 / 2回	(実施回数) 66.6 (%)
	成果目標	PR事業の強化 3回/3年		事業結果	静岡模型教材協同組合との協議の結果、展示スペースの規格と物販に関する規定等により、新宿駅西口でのプラモデル展開催は見送った。代わりに、同所において12月に行われるクリスマスフェスタや、静岡ホビースクエアのチラシ・パンフレットを配布し、首都圏におけるイベント周知を実施した。	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
	産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業 評 価 等	〔事務担当 記載項目〕 所属部会 からの 意見及び 指摘事項
基本方針		(1) マーケットを重視した事業展開の促進				
基本施策		③販路開拓支援				
所属部会	■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地域産業担当		〔事業担当 記載事項〕 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	新宿駅西口イベントスペースでは、スペースの規格や、物販の条件等が加となり、思うような展示・販売ができない。そのため今後は、首都圏におけるPRが有効に実施できる場所を探し出し、効果的な首都圏PRができるよう検討を進めていく。		
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課 工業支援担当					

事業	ものづくり基本計画	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度			
	事業名	静岡市ブランド認証制度の拡充		予算額	2,333千円		
				決算見込額	2,208千円		
	事業概要	本市ならではの魅力ある商品や製品を静岡市ブランドとして認証し、広くPRすることで、本市の認知度を高めシティプロモーションの推進を図ります。また、これを機に新たな商品や製品の開発を促進するなどの拡充に取り組みます。		取組状況 H25.9.1 現在	■新規認証関係 ①認証申請期間 8月1日～8月31日 ②書類審査 9月25日(ブランド認証専門委員会開催) ③プレゼン審査 10月29日～10月30日 (ブランド認証専門委員会開催) ④申請件数 21件 ■展示販売関係 ・「しずおかクラフトマーケット」 東京都台東区 7月11日～16日 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 8月29日～9月4日		
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(認証品数) H24 / 10品 H25 / 14品 計 / 24品 (展示即売会数) H24 / 5回 H25 / 6回 計 / 11回	(認証品数) 120 (展示即売会数) 73.3 (%)				
	成果目標	平成24～25年度 20品認証 展示即売会 15回/3年に拡充		事業結果	■新規認証関係 ①認証申請期間 8月1日～8月31日 ②書類審査 9月25日(ブランド認証専門委員会開催) ③プレゼン審査 10月29日～10月30日 (ブランド認証専門委員会開催) ④申請件数 21件 ⑤新規認証件数 14件 ■展示販売関係 ・「しずおかクラフトマーケット」東京都台東区 7月11日～16日 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 8月29日～9月4日 ・静岡あさひテレビ祭り 9月28日～9月29日 ・静岡市の特産品 東京展示会 10月16日～10月18日 ・産業フェア 11月30日～12月1日 ・鞠子楽市「しずおか葵プレミアム展」 1月23日～2月4日		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業評価等	〔事務担当記載項目〕 所属部会からの意見及び指摘事項	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
	中施策	②地域資源を活用したブランドの構築・強化					
産業振興のプラン位置付け	基本方針	1 まちを「楽しむ」産業の振興	〔事業担当記載事項〕	改善点・目標の未達成理由等			
	基本方針	(2) 全国・海外への積極的なプロモーション展開					
基本施策	①市民が誇れる静岡ブランドの確立						
所属部会	■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地域産業担当						
事業担当課等	経済局商工部 地域産業課課 地域産業担当				■今後は認証品の展示販売会だけでなく、売上げ向上を目指し具体的な販路に繋がるような、販路開拓支援を中心とした事業展開としていく予定である。		

事業 48	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度				
	事業名	市民向けものづくり体験・学習イベントの開催		予算額	5,970千円			
				決算見込額	5,432千円			
	事業概要	市内ものづくり事業者等の協力のもと、広く市民に向けて市内のものづくり産業に関する学習機会として、体験型等のイベントを開催します。		取組状況 H25.9.1 現在	市内の小学校4年生が社会科事業の一環として「駿府匠宿」で創作体験する場合申請によりその利用に要する費用の一部を市が支援している。補助金額は児童一人最大1,700円、現在50校の申請があり、10月以降実施。			
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在	(参加者数) 0
	H26.3.31 現在	(イベント参加者数) H24 / 83人 H25 / 491人 計 / 574人	(イベント参加者数) 191.3 (%)					
	成果目標	参加者 300人/3年		事業結果	<p>■平成25年度地場産品体験学習事業実績 参加学校数：50校、参加児童数：3,285人 例年通り、小学校の授業を通して、市民に、ものづくりに対する関心と理解を深めることができたと考えられる。</p> <p>■さらなる市民向けのものづくり体験の機会としては、 ・産業フェアしずおか2013で駿府匠宿がサンドブラスト等の体験コーナーを実施した。(参加者数) 175人 ・市内ものづくり事業者協力のもと、市民向けのものづくり体験型のイベントが開催された。(参加者数) 321人</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等			
		大施策						
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向		〔事務担当〕 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項					
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	<p>■PR促進部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業経営担当</p>		〔事業担当〕 記載事項 改善点・ 目標の未達成理由等	<p>小学生の4年生を対象とした体験学習事業については、市内100校(私立、公立、特別支援)の内50%の学校が参加しているため、引き続き、勧誘を勧めていく。 国の外郭団体である伝統的工芸品産業振興協会も市の補助金より有利な条件を提示しているため、そちらを選択する学校も多い。(静岡竹工芸協同組合が年間7~8校で実施)</p>				
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 地場産業担当</p>							

事業	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成25年度			
	事業名	ものづくり現場企業見学会の開催		予算額	3千円		
				決算見込額	3千円		
	事業概要	市内のものづくり事業者等の協力のもと、市民が市内におけるものづくり現場を見学する機会を通じて、ものづくり産業への理解促進に取り組めます。		取組状況 H25.9.1 現在	<p>■見学会開催事業所の選定 見学会の開催にあたり、次のポイントを考慮して検討した。</p> <p>■検討ポイント ①昨年度の情報収集をもとに、大手企業を中心に開催を調整。 ②見学会の主な参加対象は、大学生とする。また、市内のものづくり産業の内、今回は、製造品出荷額等の多い業種を見学することを通じて、市内のものづくり産業の周知を図る。さらに、就職活動の参考としてもらう機会を提供する。</p>		
					補足事項	進捗率	H25.9.1 現在
	H26.3.31 現在	(参加者数) H24 / 0人 H25 / 42人 計 / 42人	(参加者数) 14 (%)				
	成果目標	参加者 300人/3年		事業結果	<p>■開催日 平成26年3月20日(木)</p> <p>■見学先 日立アプライアンス株式会社清水事業所</p> <p>■参加人数 42人</p> <p>■参加者 (大学生等) 静岡大学大学院、静岡大学、静岡産業大学、 (その他) 静岡市ものづくり産業振興審議会委員</p> <p>■概要 今回の見学会では、非常に親切かつ丁寧な対応をいただき、空調機等に関する世界水準の生産工程などについて、講義と現場の双方を通じて学習する機会を得ることができた。参加者からは、「場内の移動等を含めたコスト意識の高さをはじめ、国際競争を勝ち抜くための尽力を実感した。」とか、「これほどの企業が地元で立地していたことに感心した。」などの感想が聞かれた。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向		事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項</p>	<p>■見学会開催企業の選定 見学会は企業の理解と協力がなければ開催できない。中小や個人では、数十人の見学者を受け入れることに戸惑いを感じることもあるため、企業の担当者等と十分調整を図ってほしい。また、企業活動のPRに関しては、自社でDVD等を所持している企業もあることから、そのような資料等を収集し、産業経済関連イベントの際に映像を流すなど、既にある素材の活用を具体的に検討してほしい。</p>		
	基本方針						
	基本施策						
所属部会	<p>■PR促進部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業経営担当</p>		<p>(事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■見学会開催企業 大手企業については、引き続き、見学会の開催に関して調整を進めていく。併せて、中小企業等については、静岡商工会議所製造業部会と連携を図り、本市のものづくり産業を周知する上で、魅力あふれる中小企業の選定に関する協議を重ねていきたい。</p>			
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 産業経営担当</p>						